

(様式第 10)

岩医大病医第 332 号
平成 27 年 10 月 3 日

厚生労働大臣 塩崎 恭久 殿

学校法人 岩手医科大学
理事長 小 川 彰 (印)

岩手医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第の規定に基づき、平成 26 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒020-8505 岩手県盛岡市内丸19番1号
氏 名	学校法人 岩手医科大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

岩手医科大学附属病院

3 所在の場所

〒020-8505 岩手県盛岡市内丸19番1号	電話 (019) 651 - 5111
----------------------------	-----------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

① 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜
--

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	① ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等 1 消化器内科 2 肝臓内科 3 糖尿病・代謝内科 4 循環器内科 5 内分泌内科 6 腎臓内科 7 呼吸器内科 8 心療内科 9 アレルギー科 10 血液・腫瘍内科 11 神経内科 12 老年内科 13 リウマチ科 14 緩和ケア内科	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	有 ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 1 消化器外科 2 肝臓外科 3 乳腺外科 4 小児外科 5 気管食道外科 6呼吸器外科 7 心臓血管外科 8 形成外科 9美容外科 10頭頸部外科 11 12 13 14	
診療実績	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科 ②小児科 ③整形外科 ④脳神経外科 ⑤皮膚科 ⑥泌尿器科 ⑦産婦人科 8 産科 9 婦人科 ⑩眼科 ⑪耳鼻咽喉科 12放射線科 ⑬放射線診断科 ⑭放射線治療科 ⑮麻酔科 ⑯救急科
--

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有 ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 1 矯正歯科 2 小児歯科 3 歯科口腔外科 4 5 6 7	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 リハビリテーション科 2 循環器小児科 3 循環器放射線科 4 臨床検査科 5 病理診断科 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21
--

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
78床	床	床	床	1,088床	1,166床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成27年9月1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	376人	77人	405.2人	看護補助者	95人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	86人	0人	86人	理学療法士	10人	臨床検査技師	79人
薬 剤 師	64人	0人	64人	作業療法士	5人	衛生検査技師	1人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	7人	その他	0人
助 産 師	47人	0人	47人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	1人
看 護 師	1,220人	2人	1,220.7人	臨床工学士	24人	医療社会事業従事者	9人
准看護師	2人	0人	0人	栄 養 士	4人	その他の技術員	44人
歯科衛生士	36人	0人	36人	歯 科 技 工 士	8人	事 務 職 員	191人
管理栄養士	19人	0人	19人	診療放射線技師	60人	その他の職員	64人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成27年9月1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	24人	眼科専門医	17人
外科専門医	31人	耳鼻咽喉科専門医	10人
精神科専門医	9人	放射線科専門医	11人
小児科専門医	21人	脳神経外科専門医	16人
皮膚科専門医	13人	整形外科専門医	19人
泌尿器科専門医	10人	麻酔科専門医	15人
産婦人科専門医	28人	救急科専門医	16人
		合 計	240人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	868.8 人	25.4 人	894.2 人
1日当たり平均外来患者数	1537.9 人	422.4 人	1960.3 人
1日当たり平均調剤数			1417.3 剤
必要医師数			186人
必要歯科医師数			25人
必要薬剤師数			29人
必要(准)看護師数			513人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除し

た数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室 (東4階)	255.315m ²	鉄筋 コンクリート	病床数	14床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
集中治療室 (循環器)	331.766m ²	鉄筋 コンクリート	病床数	21床	心電計	(有)・無
			人工呼吸装置	(有)・無	心細動除去装置	(有)・無
			その他の救急蘇生装置	(有)・無	ペースメーカー	(有)・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 [移動式の場合] 台数	143.1m ² 0台	病床数		11床	
医薬品 情報管理室	[専用室の場合] 床積 [共用室の場合] 共用する室名	62.33m ²				
化学検査室	229.64 m ²	鉄筋コンクリ	(主な設備) 生化学自動分析装置			
細菌検査室	111.05 m ²	鉄筋コンクリ	(主な設備) 細菌同定・薬剤感受性測定装置、血液培養装置 他			
病理検査室	158.71 m ²	鉄筋コンクリ	(主な設備) 自動包埋装置、自動染色装置			
病理解剖室	126.96 m ²	鉄筋コンクリ	(主な設備) 解剖台、ホルマリン調合器、オートクレーブ 他			
研究室	3,203.01m ²	鉄筋コンクリ	(主な設備) 研究用機器 他			
講義室	1,869.03m ²	鉄筋コンクリ 鉄骨鉄筋	室数	10 室	収容定員	998 人
図書室	3,825.00m ²	鉄筋コンクリ	室数	37 室	蔵書数	189,712 冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成26年4月1日～平成27年3月31日	
紹介率	65.7%	逆紹介率	66.8%
算出根拠	A: 紹介患者の数		17,911 人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		19,950 人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,710 人
	D: 初診の患者の数		29,845 人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	10人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示
第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法	0人
パクリタキセル静脈内投与及びカルボプラチン腹腔内投与の併用療法	1人
パクリタキセル静脈内投与、カルボプラチン静脈内投与及びベバシズマブ静脈内投与の併用療法 並びにベバシズマブ静脈内投与による維持療法(H27.3終了)	0人
ラジオ波焼灼システムを用いた腹腔鏡補助下肝切除術(H27.5終了)	5人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示
第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要 無し			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	77人	・膿疱性乾癬	16人
・多発性硬化症	124人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・重症筋無力症	93人	・原発性胆汁性肝硬変	61人
・全身性エリテマトーデス	231人	・重症急性膵炎	11人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	32人
・再生不良性貧血	42人	・混合性結合組織病	40人
・サルコイドーシス	151人	・原発性免疫不全症候群	6人
・筋萎縮性側索硬化症	27人	・特発性間質性肺炎	15人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	135人	・網膜色素変性症	23人
・特発性血小板減少性紫斑病	62人	・プリオン病	3人
・結節性動脈周囲炎	24人	・肺動脈性肺高血圧症	6人
・潰瘍性大腸炎	210人	・神経線維腫症	34人
・大動脈炎症候群	30人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	5人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	2人
・天疱瘡	24人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	4人
・脊髄小脳変性症	56人	・ライソゾーム病	3人
・クローン病	135人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	3人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	8人	・脊髄性筋萎縮症	3人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	268人	・球脊髄性筋萎縮症	2人
・アミロイドーシス	5人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	17人
・後縦靭帯骨化症	54人	・肥大型心筋症	2人
・ハンチントン病	2人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	63人	・ミトコンドリア病	4人
・ウェグナー肉芽腫症	9人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	1人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	63人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	20人	・黄色靭帯骨化症	7人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	42人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・がん診療連携拠点病院加算
・歯科外来診療環境体制加算	・医療安全対策加算
・歯科診療特別対応連携加算	・感染防止対策加算1
・特定機能病院入院基本料 一般病棟7対1入院基本料	・患者サポート体制充実加算
・特定機能病院入院基本料 精神病棟10対1入院基本料	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・臨床研修病院入院診療加算	・ハイリスク妊娠管理加算
・臨床研修病院入院診療加算(歯科)	・ハイリスク分娩管理加算
・救急医療管理加算・乳幼児救急医療管理加算	・退院調整加算
・超急性期脳卒中加算	・新生児特定集中治療室退院調整加算
・急性期看護補助体制加算 50対1	・救急搬送患者地域連携紹介加算
・妊産婦緊急搬送入院加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・診療録管理体制加算2	・呼吸ケアチーム加算
・療養環境加算(循環器のみ)	・データ提出加算
・重傷者等療養環境特別加算	・救命救急入院料1
・無菌治療室管理加算1	・特定集中治療室管理料4
・無菌治療室管理加算2	・総合周産期特定集中治療室管理料(母体・胎児)
・緩和ケア診療加算	・総合周産期特定集中治療室管理料(新生児)
・精神科応急入院施設管理加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・精神科身体合併症管理加算	・小児入院医療管理料2
・精神病棟入院時医学管理加算	・小児入院医療管理料4

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・高度難聴指導管理料	・緑内障手術(インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・植込型除細動器移行期加算	・網膜再建術
・糖尿病合併症管理料	・腫瘍脊椎骨全摘術
・がん性疼痛緩和指導管理料	・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)
・がん患者指導管理料1・2・3	・上顎骨形成術、下顎骨形成術(骨移動に伴う場合に限る。)(歯科)
・外来緩和ケア管理料	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後の場合)	・治療的角膜切除術(エキシマレーザーによるもの)
・移植後患者指導管理料(臓器移植後の場合)	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・外来放射線照射診療料	・人工内耳植込術
・ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)	・上顎骨形成術、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)
・がん治療連携計画策定料	・乳がんセンチネルリンパ節加算1、乳がんセンチネルリンパ節加算2
・がん治療連携管理料	・経皮的冠動脈形成術
・認知症専門診断管理料	・経皮的冠動脈ステント留置術
・肝炎インターフェロン治療計画料	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・薬剤管理指導料	・経皮的中隔心筋焼灼術
・医療機器安全管理料1	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・医療機器安全管理料2	・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
・医療機器安全管理料(歯科)	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・歯科治療総合医療管理料	・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術
・在宅血液透析指導管理料	・経静脈電極抜去術(レーザーシースを用いるもの)
・持続血糖測定器加算	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・造血器腫瘍遺伝子検査	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・HPV核酸検出、HPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・経皮的大動脈遮断術
・検体検査管理加算(Ⅳ)	・ダメージコントロール手術
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・体外衝撃波胆石破碎術
・植込型心電図検査	・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)

・時間内歩行試験	・体外衝撃波膵石破砕術
・胎児心エコー法	・腹腔鏡下肝切除術
・ヘッドアップティルト試験	・生体部分肝移植術
・人工膵臓	・同種死体肝移植術
・皮下連続式グルコース測定	・体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
・長期継続頭蓋内脳波検査	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・神経学的検査	・腹腔鏡下小切開副腎摘出術
・補聴器適合検査	・腹腔鏡下小切開腎摘出術
・コンタクトレンズ検査料1	・腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術
・小児食物アレルギー負荷検査	・腹腔鏡下腎部分切除術
・内服・点滴誘発試験	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)(併用)	・同種死体腎移植術
・CT透視下気管支鏡検査	・生体腎移植術
・画像診断管理加算2	・人工尿道括約筋植込・置換術
・画像診断管理加算(歯科)	・輸血管理料Ⅱ
・遠隔画像診断	・貯血式自己血輸血管理体制加算
・CT撮影及びMRI撮影	・自己生体組織接着剤作成術
・冠動脈CT撮影加算	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・外傷全身CT加算	・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6に掲げる手術
・心臓MRI撮影加算	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・歯周組織再生誘導手術
・外来化学療法加算1	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・無菌製剤処理料	・内視鏡手術用支援機器加算
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・人工乳房及び組織拡張器(乳房用)
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・麻酔管理料(Ⅰ)
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・麻酔管理料(Ⅱ)
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・放射線治療専任加算
・がん患者リハビリテーション料	・外来放射線治療加算
・認知療法・認知行動療法	・高エネルギー放射線治療
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料	・テレパソロジーによる術中迅速病理組織標本作製
・医療保護入院等診療料	・テレパソロジーによる術中迅速細胞診

・透析液水質確保加算2	・保険医療機関間の連携による病理診断
・磁気による膀胱等刺激法	・病理診断管理加算2
・一酸化窒素吸入療法	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・歯科技工加算	・歯科矯正診断料
・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	・歯科口腔リハビリテーション料2
・骨移植術(軟骨移植術を含む)(自家培養骨移植術に限る)	・顎口腔機能診断料
・羊膜移植術	・バルーン拡張型人工生体弁セット

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)	・
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・
・超音波骨折治療法	・
・肝切除手術における画像支援ナビゲーション	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注)2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	月10回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 15 例 / 剖検 4.10%

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
持続可能な広域医療情報連携ネットワークシステムの構築に関する研究	小川 彰	岩手医科大学 学長	9,000,000	補 委 厚生労働省
高齢脳卒中患者をモデルとした栄養管理と摂食機能訓練に関するアルゴリズムの開発、および経口摂取状態の改善効果の検証	小川 彰	岩手医科大学 学長	12,000,000	補 委 厚生労働省
脳卒中研究の今後の在り方に関する研究	小川 彰	岩手医科大学 学長	4,504,000	補 委 厚生労働省
岩手県における東日本大震災被災者の支援を目的とした大規模コホート研究	小林 誠一郎	岩手医科大学 医学部長	99,000,000	補 委 厚生労働省
難治性小腸潰瘍の診断法確立と病態解明に基づいた治療法探索	松本 主之	内科学講座 消化器内科消化管分野	29,900,000	補 委 厚生労働省
ラジオ波焼灼システムを用いた腹腔鏡補助下肝切除術の多施設共同試験	若林 剛	外科学講座	7,778,000	補 委 厚生労働省
肝細胞アポトーシスに対するNrf2を介したカルノシン酸の制御分子機構の解明	王 挺	内科学講座 消化器内科肝臓分野	520,000	補 委 文部科学省
肝再生不全克服に向けた成熟肝細胞および肝前駆細胞の再生機構に関する研究	滝川 康裕	内科学講座 消化器内科肝臓分野	1,040,000	補 委 文部科学省
ミニマル肝性脳症に対するL-カルニチンの効果に関する基礎的・臨床的研究	鈴木 一幸	内科学講座 消化器内科肝臓分野	1,040,000	補 委 文部科学省
動脈硬化形成における生体内ストレス応答調節機構の解明	石垣 泰	内科学講座 糖尿病代謝内科	1,560,000	補 委 文部科学省
大動脈解離の発症および中長期予後に関わる根本的因子の解明	蒔田 真司	内科学講座 心血管・腎・内分泌内科分野	1,170,000	補 委 文部科学省
震災ストレスによる動脈硬化性疾患感受性遺伝子の制御異常に関する網羅的解析	佐藤 衛	内科学講座 心血管・腎・内分泌内科分野	1,430,000	補 委 文部科学省
大津波災害が急性循環器疾患の発症に与える長期的影響とその対策に関する研究	中村 元行	内科学講座 心血管・腎・内分泌内科分野	1,430,000	補 委 文部科学省
健常住民における心血管疾患発症・死亡予測指標としての心電図の意義に関する研究	田中 文隆	内科学講座 心血管・腎・内分泌内科分野	1,300,000	補 委 文部科学省
酸化ストレスによる蛋白傷害に対する異性体アミノ酸修復酵素の防御的役割の解析	山内 広平	内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野	2,210,000	補 委 文部科学省
7TeslaMRIによる中枢神経系ループス早期脳微小血管病変の検出	佐々木 信人	内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野	1,690,000	補 委 文部科学省

小計16件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
血小板はどこでどのように産生されるか	石田 陽治	内科学講座 血液・腫瘍内科分野	1,690,000	補 委 文部科学省
7T MRIを用いたレンズ核線条体動脈領域梗塞の病態の解明	大庭 英樹	内科学講座 神経内科・老年科分野	1,560,000	補 委 文部科学省
拡散尖度・磁化率・神経メラニンMRIによる神経変性疾患の高精度早期診断法の確立	大塚 千久美	内科学講座 神経内科・老年科分野	910,000	補 委 文部科学省
三次元高精細MRIによる頸動脈プラーク内部性状の自動解析法の確立	鳴海 新介	内科学講座 神経内科・老年科分野	1,300,000	補 委 文部科学省
薬剤反応性タンパク質定量に基づく抗癌剤感受性試験	肥田 圭介	外科学講座	1,430,000	補 委 文部科学省
肝切除後組織修復に関わるMuse細胞の役割とその臨床応用に向けた基盤構築	若林 剛	外科学講座	1,560,000	補 委 文部科学省
薬剤耐性コロニーをモデルとした癌再発抑制へ繋がる化合物同定に関する研究	西塚 哲	外科学講座	1,300,000	補 委 文部科学省
histone mRNA/microRNA経路を標的とした癌治療法の開発	岩谷 岳	外科学講座	1,820,000	補 委 文部科学省
新規がん抑制遺伝子TMPRSS11の解析	秋山 有史	外科学講座	1,690,000	補 委 文部科学省
脳転移指向性乳癌細胞株を用いた脳転移予測マーカー探索	石田 和茂	外科学講座	650,000	補 委 文部科学省
肝外細胞の肝再生に果たす役割	高原 武志	外科学講座	1,690,000	補 委 文部科学省
胆道良性および悪性疾患における分離腺管のエピジェネティクス解析	塩井 義裕	外科学講座	2,860,000	補 委 文部科学省
脳主幹動脈閉塞性病変による貧困灌流の新たな非侵襲的画像診断法の開発と臨床応用	小林 正和	脳神経外科学講座	910,000	補 委 文部科学省
脳主幹動脈閉塞による慢性虚血脳における低酸素細胞の存在とその可逆性に関する研究	小笠原 邦昭	脳神経外科学講座	1,430,000	補 委 文部科学省
一過性脳虚血及び再灌流時のレドックス解析に基づいた新たな脳循環代謝障害指標の確立	吉田 研二	脳神経外科学講座	1,690,000	補 委 文部科学省
脳神経外科手術中の無侵襲型眼球運動モニタリング装置の開発及び臨床応用に関する研究	和田 司	脳神経外科学講座	1,820,000	補 委 文部科学省
完全非侵襲脳循環代謝測定に基づく一酸化炭素中毒予後予測法の開発	藤原 俊朗	脳神経外科学講座	650,000	補 委 文部科学省
分子イメージングを用いた頸動脈内膜剥離術後認知機能改善のメカニズムの解明	斎藤 秀夫	脳神経外科学講座	1,820,000	補 委 文部科学省

小計18件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
脳分子イメージングを用いた心臓大血管手術後高次脳機能障害のメカニズムの解明	坪井 潤一	心臓血管外科学講座	1,950,000	補 委 文部科学省
腱・腱鞘再建に対するヒアルロン酸の効果の生体内研究	西田 淳	整形外科科学講座	1,300,000	補 委 文部科学省
Scarless Healingを目指して-MRTF-A miceによる癒痕解析	長尾 宗朝	形成外科学講座	2,210,000	補 委 文部科学省
腺管分離による上皮性卵巣癌の純粋分離癌腺管の分子病理学的解析	永沢 崇幸	産婦人科学講座	1,170,000	補 委 文部科学省
腎内血流不均衡が敗血症性急性腎障害を引き起こす	石川 健	小児科学講座	260,000	補 委 文部科学省
夜間膀胱内カテーテル留置法の確立	古川 ひろみ	小児科学講座	520,000	補 委 文部科学省
マイクロバブル・ナノバブルを用いた頭頸部癌の画期的な診断・治療法の開発と臨床応用	志賀 清人	耳鼻咽喉科学講座	2,470,000	補 委 文部科学省
乳酸菌を用いた頭頸部進行・再発癌に対する新たな分子治療の開発と臨床応用	片桐 克則	耳鼻咽喉科学講座	1,820,000	補 委 文部科学省
TGF- β による水晶体上皮細胞の上皮間葉系移行におけるRhoキナーゼの役割	黒坂 大次郎	眼科学講座	2,080,000	補 委 文部科学省
多局所網膜電図による緑内障眼検出法の新たな提案	金子 宗義	眼科学講座	390,000	補 委 文部科学省
セミカルバダイズ感受性モノアミンオキシダーゼ阻害剤による加齢性眼疾患の抑制	橋爪 公平	眼科学講座	2,080,000	補 委 文部科学省
次世代シークエンサーによる多能性維持転写因子NACCI制御下遺伝子の網羅的同定	角田 加奈子	皮膚科学講座	1,430,000	補 委 文部科学省
HSP90シャペロン機能発現に関わる新たな細胞質内脱アセチル化酵素の活性制御機構	石川 雄一	皮膚科学講座	1,690,000	補 委 文部科学省
正常メラノサイトにおけるKEAP1突然変異の悪性黒色腫発生リスク増加に関する研究	三浦 慎平	皮膚科学講座	1,820,000	補 委 文部科学省
遺伝子多型を用いた前立腺癌に対するドセタキセル療法効果予測法の構築	高田 亮	泌尿器科学講座	1,300,000	補 委 文部科学省
精神科救急における適正受診のための指標開発および連携体制構築による地域介入研究	遠藤 仁	神経精神科学講座	1,040,000	補 委 文部科学省
精神保健従事者への遠隔教育モデルを含めた教育システムの構築	大塚 耕太郎	神経精神科学講座	1,560,000	補 委 文部科学省
Nanocapsuleを用いた、癌転移巣検出と放射線-抗癌剤標的療法の開発	原田 聡	放射線医学講座	1,040,000	補 委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
冠動脈疾患のリスクが高い患者群に適した低侵襲的画像診断法の開発	吉岡 邦浩	放射線医学講座	3,510,000	補 委 文部科学省
肺胞II型細胞の水分移送(ドーム形成)と肺水腫の発生機序に関する研究	諏訪部 章	臨床検査医学講座	1,950,000	補 委 日本学術振興会
急性CO中毒に対するHBOT適応に向けた頭部CT・MRI異常発生因子の解析	小野寺 誠	救急医学講座	520,000	補 委 文部科学省
東日本大震災前後の脳卒中罹患状況の変化に関する研究	大間々 真一	救急医学講座	1,430,000	補 委 文部科学省
多白血球血漿におけるエンドトキシン測定	菅 重典	高度救命救急センター	1,560,000	補 委 文部科学省
脳内出血における大脳皮質神経受容体結合能の変化と神経機能の関連	小守林 靖一	高度救命救急センター	780,000	補 委 文部科学省
チトクロムCによる感染症迅速診断キットの開発	石部 頼子	高度救命救急センター	1,040,000	補 委 文部科学省
ER、PgR、HER2発現に基づいた子宮頸内膜腺癌の臨床病理学的分子レベルの解析	菅井 有	病理診断学講座	1,820,000	補 委 文部科学省
乳腺神経内分泌癌の発生機構の解明、新分類の提唱および新しい診断・治療法の樹立	川崎 朋範	病理診断学講座	1,430,000	補 委 文部科学省
胃粘膜下層浸潤癌に対する内視鏡治療後の病理組織学的判定方法の確立に関する研究	石田 和之	病理診断学講座	1,560,000	補 委 文部科学省
一酸化炭素中毒超急性期・急性期における予後予測法の確立と病態メカニズムの解明	別府 高明	高気圧環境医学科	3,120,000	補 委 文部科学省
187チャンネル高分解能心電図での心拍変動解析による胎児中枢神経活動と胎教の評価	福島 明宗	臨床遺伝学科	1,690,000	補 委 文部科学省
ライフストーリー分析指標の開発	山本 佳世乃	臨床遺伝学科	1,950,000	補 委 日本学術振興会
心臓植込み型電子機器装置患者の歯科治療時の安全性に関する研究	工藤 義之	歯科保存学講座う蝕治療学分野	650,000	補 委 文部科学省
IL-6に着目した歯髄炎の病態形成における歯髄細胞と血管内皮細胞のクロストーク	藤原 英明	歯科保存学講座歯周療法学分野	1,300,000	補 委 文部科学省
Fusobacterium nucleatumの硫化水素産生能と歯周病態形成	伊東 俊太郎	歯科保存学講座歯周療法学分野	1,040,000	補 委 文部科学省
POCTとして唾液中亜鉛結合タンパク質を指標とした迅速な味覚障害評価法の臨床応用	島崎 伸子	補綴・インプラント学講座	520,000	補 委 文部科学省
傾斜機能型ナノハイブリッドインプラントの実用化に向けた幹細胞のホーミング機構解析	武部 純	補綴・インプラント学講座	910,000	補 委 文部科学省

小計18件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
小型筋電計による終日咀嚼筋筋電図記録を口腔インプラントの難易度判定に応用する	金村 清孝	補綴・インプラント学講座	390,000	補委 文部科学省
CADCAMによるオールセラミッククラウンのカラーマネージメントシステムの構築	大平 千之	補綴・インプラント学講座	1,950,000	補委 文部科学省
遺伝子導入とナノバイオマテリアルを応用した新規骨組織再生療法	近藤 尚知	補綴・インプラント学講座	2,210,000	補委 文部科学省
加齢や障害による食塊形成能・嚥下機能の低下を考慮した有床義歯のデザインング	古屋 純一	補綴・インプラント学講座	1,950,000	補委 文部科学省
脂肪細胞由来スフェロイドを用いた組織再生の試み	中田 秀美	補綴・インプラント学講座	1,040,000	補委 文部科学省
日中に生じるクレンチングは心理的要因の影響を受けるか?	遠藤 寛	補綴・インプラント学講座	910,000	補委 文部科学省
スーパーメンブレンの開発と研究	高藤 恭子	補綴・インプラント学講座	1,820,000	補委 文部科学省
加齢が嚥下機能に与える影響	玉田 泰嗣	補綴・インプラント学講座	1,040,000	補委 文部科学省
インプラント上部構造の破折・咬耗に関する客観的検査法の開発	田邊 憲昌	補綴・インプラント学講座	1,300,000	補委 文部科学省
ナノハイドロキシアパタイト・人工合成コラーゲンを用いた骨補填材の開発	島山 航	補綴・インプラント学講座	1,430,000	補委 文部科学省
骨再生効果を増強した組換え成長因子による低侵襲性骨再生法の開発	横田 潤	補綴・インプラント学講座	1,300,000	補委 文部科学省
マイクロPIXE法の組織微量元素偏在分析による口腔扁平苔癬病因解明のための研究	杉山 芳樹	口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野	780,000	補委 文部科学省
口腔角化病変発症メカニズムでのカルボニルタンパクの意義とレドックス抑制機構の解明	熊谷 章子	口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野	1,300,000	補委 文部科学省
口腔癌の細菌性生物発癌におけるAIDの発現と役割	松本 直子	口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野	650,000	補委 文部科学省
全身麻酔後の術後感染症予防に向けた口腔環境の解明	遠藤 千恵	口腔顎顔面再建学講座 歯科麻酔学分野	2,600,000	補委 文部科学省
PET用薬剤としてのF18標識コリンの集積機構と臨床への展開	小豆島 正典	口腔顎顔面再建学講座 歯科放射線学分野	1,170,000	補委 文部科学省
間葉系細胞由来破骨細胞分化抑制因子の作用機序と炎症性骨吸収抑制効果の解明	恵美子(青松恵美)	口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野	1,430,000	補委 文部科学省
GDP-5を用いた歯髄幹細胞分化誘導法の開発	丸谷 由里子	口腔保健育成学講座 小児歯科学分野・障害者歯科学分野	1,170,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ミュータンスレンサ球菌が伝播しない小児口腔細菌叢の解明	田中 光郎	口腔保健育成学講座 小児歯科学分野・障害者歯科学分野	1,170,000	補 委 文部科学省
昆虫の休眠ホルモンを用いた組織保存液の開発	菊池 和子	口腔保健育成学講座 小児歯科学分野・障害者歯科学分野	1,950,000	補 委 文部科学省
分子標的治療薬に伴う副作用に対する支持療法と薬剤師の介入効果に関する検討	二瓶 哲	薬剤部	390,000	補 委 文部科学省
岩手県の潰瘍性大腸炎患者における大腸癌発症に関する研究	松本 主行	内科学講座 消化器内科消化管分野	1,000,000	補 委 岩手県
岩手県における急性肝障害例の成因解明と重症化要因の解析	滝川 康裕	内科学講座 消化器内科肝臓分野	1,000,000	補 委 岩手県
大津波被災が急性循環器疾患の発症に与える影響とその対策に関する研究	中村 元行	内科学講座 心血管・腎・内分泌内科学分野	1,000,000	補 委 岩手県
ヒト肺癌における変異型Epidermal growth factor receptor (EGFR)の分子シミュレーション解析にもとづく個別化治療	山内 広平	内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病内科学分野	1,000,000	補 委 岩手県
中学生を対象とした地域における認知症啓発の方法論の確立	寺山 靖夫	内科学講座 神経内科・老年科分野	1,000,000	補 委 岩手県
いわて医療情報ネットワークを利用した遠隔手術指導支援	小林 誠一郎	外科学講座	1,000,000	補 委 岩手県
高磁場MRSによる脳温度イメージングを用いた頸動脈内膜剝離術中頸動脈遮断虚血出現の術前予知	小笠原 邦昭	脳神経外科学講座	1,000,000	補 委 岩手県
股関節手術における手術アプローチの優位性に関する調査	土井田 稔	整形外科講座	1,000,000	補 委 岩手県
対応に迷う創傷処置に対するタブレット端末を用いた遠隔指導の試み;創傷処理に対する岩手県の理解度・技術向上をめざして	小林 誠一郎	形成外科学講座	1,000,000	補 委 岩手県
岩手県産婦人科医療における大学病院および県立病院共通の専門医育成研修プログラムの構築	杉山 徹	産婦人科学講座	1,000,000	補 委 岩手県
フォンタン手術適応患者における、門脈体循環短絡の合併とその予後	千田 勝一	小児科学講座	1,000,000	補 委 岩手県
角膜移植待機患者を減少させる手術法の確立	黒坂 大次郎	眼科学講座	1,000,000	補 委 岩手県
岩手県内の生物学的製剤治療をしている尋常性乾癬患者QOLの調査	赤坂 俊英	皮膚科学講座	1,000,000	補 委 岩手県
『進行性腎癌に対するスニチニブ治療の有害事象の検討』	小原 航	泌尿器科学講座	1,000,000	補 委 岩手県

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
医療従事者への精神的不調患者の対応法に関する教育法について	酒井 明夫	神経精神科学講座	1,000,000	補 委 岩手県
心臓手術における麻酔方法の違いが患者の術後状態に与える影響	鈴木 健二	麻酔学講座	1,000,000	補 委 岩手県
震災に強い遠隔病理診断システムの構築 ー岩手モデルの確立と世界発信を目指してー	菅井 有	病理診断学講座	1,000,000	補 委 岩手県
肺血症性多臓器不全患者の治療成績の向上に向けて	遠藤 重厚	救急医学講座	1,000,000	補 委 岩手県
急性肝不全用の一体型個人用血液濾過透析機器の開発	滝川 康裕	内科学講座消化器内科 肝臓分野	116,895,171	補 委 岩手県
いわて発高付加価値コバルト合金を用いた整形外科用インプラントの開発	土井田 稔	整形外科学講座	43,468,778	補 委 岩手県
通信機器を備えた充電式nCPAP(持続気道陽圧治療)装置および治療圧低減のための補助口腔内装置の開発	櫻井 滋	睡眠医療学科	33,496,061	補 委 岩手県
高精度超音波画像診断装置の開発	志賀 清人	耳鼻咽喉科学講座	47,871,192	補 委 岩手県

計113件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	Kouhei Hashizume	眼科学講座	Choroidal thickness in eyes with posterior recurrence of Vogt-Koyanagi-Harada disease after high-dose steroid therapy	Acta Ophthalmol 92(6) e490-1 2014
2	Muneyoshi Kaneko	眼科学講座	Alterations of photopic negative response of multifocal electroretinogram in patients with glaucoma	Curr Eye Res 40(1) 77-86 2015
3	Sayano Ishikawa	眼科学講座	Effect of astaxanthin on cataract formation induced by glucocorticoids in the chick embryo	Curr Eye Res 40(5) 535-40 2015
4	Shigeki Machida	眼科学講座	Differences in functional loss associated with ganglion cell complex thinning between patients with glaucoma and postoperative macular hole	Curr Eye Res 39(8) 845-52 2014
5	Shigeki Machida	眼科学講座	Comparisons of cone electroretinograms after indocyanine green-, brilliant blue G-, or triamcinolone acetonide-assisted macular hole surgery	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol 252(9) 1423-33 2014
6	Shigeki Machida	眼科学講座	Regional variations in correlation between photopic negative response of focal electroretinograms and ganglion cell complex in glaucoma	Curr Eye Res 40(4) 439-49 2015
7	Shigeki Machida	眼科学講座	Recoverin-associated retinopathy secondary to Warthin tumor of parotid gland	Documenta Ophthalmologica 129(2) 123-128 2014
8	Tomoharu Nishimura	眼科学講座	Structures affecting recovery of macular function in patients with age-related macular degeneration after intravitreal ranibizumab	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol 253(8) 1201-9 2015
9	Yoshiharu Toba	眼科学講座	Comparisons of retinal nerve fiber layer thickness after indocyanine green, brilliant blue g, or triamcinolone acetonide-assisted macular hole surgery	J Ophthalmol 2014 187308 2014
10	Gaku Takahashi	救急医学講座	Presepsin in the prognosis of infectious diseases and diagnosis of infectious disseminated intravascular coagulation: a prospective, multicentre, observational study	Eur J Anaesthesiol 32(3) 199-206 2015

小計 10件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
11	Ryo Sato	救急医学講座	A newly developed kit for the measurement of urinary liver-type fatty acid-binding protein as a biomarker for acute kidney injury in patients with critical care	J Infect Chemother 21(3) 165-9 2015
12	Shinichi Omama	救急医学講座	Extent of flood damage increased cerebrovascular disease incidences in Iwate prefecture after the great East Japan earthquake and tsunami of 2011	Cerebrovasc Dis 37(6) 451-9 2014
13	Hiroaki Kimura	形成外科学講座	Oblique lateral incision and subpectoral dissection in modified Nuss procedure minimize future breast deformity	J Plast Reconstr Aesthet Surg 68(5) 692-7 2015
14	Akira Sasaki	外科学講座	Single-port versus multiport laparoscopic resection for gastric gastrointestinal stromal tumors: a case-matched comparison	Surg Today 44(7) 1282-6 2014
15	Akira Sasaki	外科学講座	Bariatric surgery and non-alcoholic Fatty liver disease: current and potential future treatments	Front Endocrinol (Lausanne) 5 164 2014
16	Akira Umemura	外科学講座	ABO-Incompatible Living Donor Liver Transplantation from Hepatitis B Core Antibody Positive Donor to Hepatitis C Liver Cirrhosis Recipient: A Case Report	Case Rep Transplant 2014 507621 2014
17	Akira Umemura	外科学講座	Laparoscopic umbilical hernia repair in a cirrhotic patient with a peritoneovenous shunt	Asian J Endosc Surg 8(2) 212-5 2015
18	Akira Umemura	外科学講座	Totally laparoscopic total gastrectomy for gastric cancer: literature review and comparison of the procedure of esophagojejunostomy	Asian J Surg 38(2) 102-12 2015
19	Akira Umemura	外科学講座	Magnetic compression anastomosis for the stricture of the choledochocholedochostomy after ABO-incompatible living donor liver transplantation	Clin J Gastroenterol 7(4) 361-4 2014
20	Go Wakabayashi	外科学講座	Laparoscopic hepatectomy is theoretically better than open hepatectomy: preparing for the 2nd International Consensus Conference on Laparoscopic Liver Resection	J Hepatobiliary Pancreat Sci 21(10) 723-31 2014
21	Go Wakabayashi	外科学講座	Towards the 2nd International Consensus Conference on Laparoscopic Liver Resection	J Hepatobiliary Pancreat Sci 21(10) 721-2 2014

小計 11件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
22	Kenji Makabe	外科学講座	Efficacy of occlusion of hepatic artery and risk of carbon dioxide gas embolism during laparoscopic hepatectomy in a pig model	J Hepatobiliary Pancreat Sci 21(8) 592-8 2014
23	Koki Otsuka	外科学講座	Laparoscopic-assisted proctocolectomy with prolapsing technique for familial adenomatous polyposis	Surg Laparosc Endosc Percutan Tech 24(6) e228-32 2014
24	Masahiro Kashiwaba	外科学講座	A phase I study of capecitabine combined with CPT-11 in metastatic breast cancer pretreated with anthracyclines and taxanes	Oncology 86(4) 206-11 2014
25	Naoko Ito	外科学講座	Hyperglycemia 3 days after esophageal cancer surgery is associated with an increased risk of postoperative infection	J Gastrointest Surg 18(9) 1547-56 2014
26	Takeshi Takahara	外科学講座	Minimally invasive donor hepatectomy: evolution from hybrid to pure laparoscopic techniques	Ann Surg 261(1) e3-4 2015
27	Tetsuya Itabashi	外科学講座	Potential value of sonazoid-enhanced intraoperative laparoscopic ultrasonography for liver assessment during laparoscopy-assisted colectomy	Surg Today 44(4) 696-701 2014
28	Toru Obuchi	外科学講座	Serous cystadenocarcinoma of the mesentery in a man: case report and review of literature	Gastroenterol Rep (Oxf) 2(4) 306-10 2014
29	Yasushi Hasegawa	外科学講座	Approaches to laparoscopic liver resection: a meta-analysis of the role of hand-assisted laparoscopic surgery and the hybrid technique	J Hepatobiliary Pancreat Sci 22(5) 335-41 2015
30	Yasushi Hasegawa	外科学講座	Long-term outcomes of laparoscopic versus open liver resection for liver metastases from colorectal cancer: A comparative analysis of 168 consecutive cases at a single center	Surgery 157(6) 1065-72 2015
31	Yuji Akiyama	外科学講座/緩和医療	Curative two-stage resection for synchronous triple cancers of the esophagus, colon, and liver: Report of a case	Int J Surg Case Rep 13 1-4 2015
32	Yutaka Nishinari	外科学講座	Pulmonary hilar lymph node metastasis of breast cancer induced bronchopleural fistula and superior vena cava syndrome	Am J Case Rep 15 492-5 2014

小計 11件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
33	Akimune Fukushima	産婦人科学講座	A case of fallopian tube adenofibroma: difficulties associated with differentiation from ectopic pregnancy	Clin Med Insights Case Rep 7 135-7 2014
34	Eriko Takatori	産婦人科学講座	A pilot study of oxaliplatin with oral S-1 as second-line chemotherapy for patients with recurrent adenocarcinoma of the uterine cervix	Int J Clin Oncol 19(2) 336-40 2014
35	Eriko Takatori	産婦人科学講座	Analysis of prognostic factors for patients with bulky squamous cell carcinoma of the uterine cervix who underwent neoadjuvant chemotherapy followed by radical hysterectomy	Int J Clin Oncol 20(2) 345-50 2015
36	Eriko Takatori	産婦人科学講座	A phase II clinical trial of palonosetron for the management of delayed vomiting in gynecological cancer patients receiving paclitaxel/carboplatin therapy	Mol Clin Oncol 3(2) 281-286 2015
37	Eriko Takatori	産婦人科学講座	A recurrent ovarian cancer patient with a history of nine prior chemotherapy regimens who was safely treated with weekly paclitaxel plus bevacizumab and achieved a complete response: a case report	Onco Targets Ther 8 2097-100 2015
38	Satoshi Takeuchi	産婦人科学講座	[Maintenance therapy in patients with advanced epithelial ovarian cancer-impact of anti-angiogenic molecular targeted agents in progress]	Gan To Kagaku Ryoho 41(8) 937-43 2014
39	Tadahiro Shoji	産婦人科学講座	Clinical significance of atypical glandular cells in the Bethesda system 2001: a comparison with the histopathological diagnosis of surgically resected specimens	Cancer Invest 32(4) 105-9 2014
40	Tadahiro Shoji	産婦人科学講座	A phase I study of irinotecan and pegylated liposomal doxorubicin in recurrent ovarian cancer (Tohoku Gynecologic Cancer Unit 104 study)	Cancer Chemother Pharmacol 73(5) 895-901 2014
41	Tadahiro Shoji	産婦人科学講座	Pilot study of intraperitoneal administration of triamcinolone acetonide for cancerous ascites in patients with end-stage gynecological cancer	Int J Gynecol Cancer 24(6) 1093-7 2014
42	Toru Sugiyama	産婦人科学講座	Phase III placebo-controlled double-blind randomized trial of radiotherapy for stage IIB-IVA cervical cancer with or without immunomodulator Z-100: a JGOG study	Ann Oncol 25(5) 1011-7 2014
43	Goodwin, Jonathan A	口腔顎顔面再建学講座 歯科麻酔学分野	Susceptibility-Weighted Phase Imaging and Oxygen Extraction Fraction Measurement during Sedation and Sedation Recovery using 7T MRI	J Neuroimaging 25(4) 575-81 2015

小計 11件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
44	Kenichi Satoh	口腔顎顔面再建学講座 歯科麻酔学分野	Severe Bradycardia Possibly due to a Local Anesthetic Oral Mucosal Injection during General Anesthesia	Case Rep Dent 2015 896196 2015
45	Kenichi Satoh	口腔顎顔面再建学講座 歯科麻酔学分野	Effect of lidocaine on swine lingual and pulmonary arteries	J Anesth 29(4) 529-34 2015
46	Harumi Mizuki	口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野	In situ immunohistochemical detection of intracellular Mycoplasma salivarium in the epithelial cells of oral leukoplakia	J Oral Pathol Med 44(2) 134-44 2015
47	Fumie Aizawa	口腔医学講座 予防歯科学分野	Targeting individual empowerment to raise leaders for local oral health promotion in Japan	Asia Pac J Public Health 27(2) NP2305-15 2015
48	Jun Takebe	補綴・インプラント学講座	Effects of the nanotopographic surface structure of commercially pure titanium following anodization-hydrothermal treatment on gene expression and adhesion in gingival epithelial cells	Mater Sci Eng C Mater Biol Appl 42 273-9 2014
49	Atsushi Kamei	小児科学講座	Hypofibrinogenemia caused by adrenocorticotrophic hormone for infantile spasms: a case report	Brain Dev 37(1) 137-9 2015
50	Megum Kobayashi	小児科学講座	Neonatal portal venous blood flowmetry by Doppler ultrasound for early diagnosis of ischemia in intestinal tract	Eur J Pediatr Surg 25(3) 292-8 2015
51	Akihiro Tokushige	心臓血管外科学講座	Incidence and outcome of surgical procedures after coronary artery bypass grafting compared with those after percutaneous coronary intervention: a report from the Coronary Revascularization Demonstrating Outcome Study in Kyoto PCI/CABG Registry Cohort-2	Circ Cardiovasc Interv 7(4) 482-91 2014
52	Akio Ikai	心臓血管外科学講座	Permanent epicardial pacing lead implantation for scheduled multistage operations in Fontan candidate	Ann Thorac Surg 98(1) 355-6 2014
53	Kazuya Kumagai	心臓血管外科学講座	Successful neo-ostium creation using pulmonary artery tissue in a case of anomalous origin of the left coronary artery from the right sinus of Valsalva	Interact Cardiovasc Thorac Surg 18(5) 695-7 2014
54	Tatsuya Furutake	心臓血管外科学講座	Artery fistula causing aortic regurgitation in pulmonary atresia with ventricular septal defect and major aortopulmonary collateral arteries	Ann Thorac Surg 99(5) e121-3 2015

小計 11件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
55	Tsuguo Nishijima	睡眠医療学科	Elevated plasma levels of soluble (pro)renin receptor in patients with obstructive sleep apnea syndrome: association with polysomnographic parameters	Peptides 56 14-21 2014
56	Sanjuro Takeda	整形外科科学講座	Morphology of the femoral insertion of the lateral collateral ligament and popliteus tendon	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc 23(10) 3049-54 2015
57	Yoshikuni Mimata	整形外科科学講座	Diabetic Muscle Infarction of the Tibialis Anterior and Extensor Hallucis Longus Muscles Mimicking the Malignant Soft-Tissue Tumor	Case Rep Orthop 2015 656307 2015
58	Yoshikuni Mimata	整形外科科学講座	Glenohumeral arthrodesis for malignant tumor of the shoulder girdle	J Shoulder Elbow Surg 24(2) 174-8 2015
59	Kazunori Murai	内科学講座 血液・腫瘍内科学分野	Bortezomib induces thrombocytopenia by the inhibition of proplatelet formation of megakaryocytes	Eur J Haematol 93(4) 290-6 2014
60	Shugo Kowata	内科学講座 血液・腫瘍内科学分野	Platelet demand modulates the type of intravascular protrusion of megakaryocytes in bone marrow	Thromb Haemost 112(4) 743-56 2014
61	Naoto Morikawa	内科学講座 呼吸器・アレルギー・ 膠原病内科分野	First-line gefitinib for elderly patients with advanced NSCLC harboring EGFR mutations. A combined analysis of North-East Japan Study Group studies	Expert Opin Pharmacother 16(4) 465-72 2015
62	Okinori Murata	内科学講座 呼吸器・アレルギー・ 膠原病内科分野	Detection of cerebral microvascular lesions using 7 T MRI in patients with neuropsychiatric systemic lupus erythematosus	Neuroreport 26(1) 27-32 2015
63	Rumi Koizumi	内科学講座 呼吸器・アレルギー・ 膠原病内科分野	Rapamycin attenuates pulmonary allergic vasculitis in murine model by reducing TGF-beta production in the lung	Allergol Int 63(3) 457-66 2014
64	Yutaka Nakamura	内科学講座 呼吸器・アレルギー・ 膠原病内科分野	Periostin in the bronchial lavage fluid of asthma patients	Allergol Int 64(2) 209-10 2015
65	Kunihiro Yoshioka	内科学講座 循環器内科分野	Three-dimensional demonstration of the collateral circulation to the artery of Adamkiewicz via inferior epigastric artery with computed tomography angiography	Eur J Cardiothorac Surg 48(1) 175 2015

小計 11件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
66	Tomonori Itoh	内科学講座 循環器内科分野	How can we predict reduced fractional flow reserve using coronary lesion characteristics?	Circ J 79(4) 751-3 2015
67	Tomonori Itoh	内科学講座 循環器内科分野	Impact of the Japan earthquake disaster with massive Tsunami on emergency coronary intervention and in-hospital mortality in patients with acute ST-elevation myocardial infarction	Eur Heart J Acute Cardiovasc Care 3(3) 195-203 2014
68	Yoshihiro Morino	内科学講座 循環器内科分野	Japanese postmarketing surveillance of clopidogrel for patients with non-ST-segment-elevation acute coronary syndrome indicated for percutaneous coronary intervention (J-PLACE NSTE-ACS)	Cardiovasc Interv Ther 29(2) 123-33 2014
69	Chigumi Ohtsuka	内科学講座 神経内科・老年科分野	Differentiation of early-stage parkinsonisms using neuromelanin-sensitive magnetic resonance imaging	Parkinsonism Relat Disord 20(7) 755-60 2014
70	Junko Takahashi	内科学講座 神経内科・老年科分野	Detection of changes in the locus coeruleus in patients with mild cognitive impairment and Alzheimer's disease: high-resolution fast spin-echo T1-weighted imaging	Geriatr Gerontol Int 15(3) 334-40 2015
71	Shinsuke Narumi	内科学講座 神経内科・老年科分野	Carotid plaque characterization using 3D T1-weighted MR imaging with histopathologic validation: a comparison with 2D technique	AJNR Am J Neuroradiol 36(4) 751-6 2015
72	Tatsunori Natori	内科学講座 神経内科・老年科分野	Evaluating middle cerebral artery atherosclerotic lesions in acute ischemic stroke using magnetic resonance T1-weighted 3-dimensional vessel wall imaging	J Stroke Cerebrovasc Dis 23(4) 706-11 2014
73	Tatsunori Natori	内科学講座 神経内科・老年科分野	Detection of vessel wall lesions in spontaneous symptomatic vertebrobasilar artery dissection using T1-weighted 3-dimensional imaging	J Stroke Cerebrovasc Dis 23(9) 2419-24 2014
74	Yamaguchi Oura, Mao	内科学講座 神経内科・老年科分野	Carotid plaque characteristics on magnetic resonance plaque imaging following long-term cilostazol therapy	J Stroke Cerebrovasc Dis 23(9) 2425-30 2014
75	Fumitaka Tanaka	内科学講座 心血管・腎・内分泌内科分野	Relationship between the seismic scale of the 2011 northeast Japan earthquake and the incidence of acute myocardial infarction: A population-based study	Am Heart J 169(6) 861-9 2015
76	Masanobu Niiyama	内科学講座 心血管・腎・内分泌内科分野	Population-based incidence of sudden cardiac and unexpected death before and after the 2011 earthquake and tsunami in Iwate, northeast Japan	J Am Heart Assoc 3(3) e000798 2014

小計 11件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
77	Shinji Makita	内科学講座 心血管・腎・内分泌内 科分野	Bradycardia is associated with future cardiovascular diseases and death in men from the general population	Atherosclerosis 236(1) 116-20 2014
78	Mizue Matsui	内科学講座 糖尿病・代謝内科分野	Response to the dipeptidyl peptidase-4 inhibitors in Japanese patients with type 2 diabetes might be associated with a diplotype of two single nucleotide polymorphisms on the interleukin-6 promoter region under a certain level of physical activity	J Diabetes Investig 6(2) 173-81 2015
79	Tomoyasu Oda	内科学講座 糖尿病・代謝内科分野	Positive association of free triiodothyronine with pancreatic beta-cell function in people with prediabetes	Diabet Med 32(2) 213-9 2015
80	Hidekatsu Kuroda	内科学講座 消化器内科肝臓分野	Liver stiffness measured by acoustic radiation force impulse elastography reflects the severity of liver damage and prognosis in patients with acute liver failure	Hepatol Res 45(5) 571-7 2015
81	Kazuhiro Kasai	内科学講座 消化器内科肝臓分野	Efficacy of hepatic arterial infusion chemotherapy using 5-fluorouracil and systemic pegylated interferon alpha-2b for advanced intrahepatic cholangiocarcinoma	Ann Surg Oncol 21(11) 3638-45 2014
82	Keisuke Kakisaka	内科学講座 消化器内科肝臓分野	Bimodal peaks of liver stiffness in a case of drug-induced liver injury	Hepatol Res 45(3) 343-8 2015
83	Keisuke Kakisaka	内科学講座 消化器内科肝臓分野	Alpha-fetoprotein: A biomarker for the recruitment of progenitor cells in the liver in patients with acute liver injury or failure	Hepatol Res 2014
84	Keisuke Kakisaka	内科学講座 消化器内科肝臓分野	Hypothyroidism Enhanced Portal Hypertension in a Patient with Alcoholic Liver Cirrhosis, Resulting in the Development of Ascites	Intern Med 54(18) 2327-31 2015
85	Keisuke Kakisaka	内科学講座 消化器内科肝臓分野	Elevation of serum cytokines preceding elevation of liver enzymes in a case of drug-induced liver injury	Hepatol Res 44(10) E284-9 2014
86	Keisuke Kawasaki	内科学講座 消化器内科肝臓分野	Low-Dose Aspirin and Non-steroidal Anti-inflammatory Drugs Increase the Risk of Bleeding in Patients with Gastroduodenal Ulcer	Dig Dis Sci 60(4) 1010-5 2015
87	Keisuke Kawasaki	内科学講座 消化器内科肝臓分野	Pyogenic granuloma of the ileum depicted by small-bowel radiography, capsule endoscopy and double balloon endoscopy	Dig Liver Dis 47(5) 436 2015

小計 11件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
88	Shuhei Oana	内科学講座 消化器内科肝臓分野	Efficacy and safety of double-balloon endoscopy-assisted endoscopic papillary large-balloon dilatation for common bile duct stone removal	Dig Liver Dis 47(5) 401-4 2015
89	Toshimi Chiba	内科学講座 消化器内科肝臓分野	Clinical diagnosis of irritable bowel syndrome	Nihon Shokakibyō Gakkai Zasshi 111(7) 1345-52 2014
90	Wang, Ting	内科学講座 消化器内科肝臓分野	Proliferation of mouse liver stem/progenitor cells induced by plasma from patients with acute liver failure is modulated by P2Y2 receptor-mediated JNK activation	J Gastroenterol 49(12) 1557-66 2014
91	Yasuhiro Takikawa	内科学講座 消化器内科肝臓分野	Prediction of hepatic encephalopathy development in acute liver injury	Nihon Shokakibyō Gakkai Zasshi 112(5) 822-8 2015
92	Yosuke Toya	内科学講座 消化器内科肝臓分野	Lipoma of the small intestine treated with endoscopic resection	Clin J Gastroenterol 7(6) 502-5 2014
93	Hiroaki Saura	脳神経外科学講座	Intractable yawning associated with mature teratoma of the supramedial cerebellum Case report	Journal of Neurosurgery 121(2) 387-389 2014
94	Kunihiro Nishimura	脳神経外科学講座	Cross-sectional survey of workload and burnout among Japanese physicians working in stroke care: the nationwide survey of acute stroke care capacity for proper designation of comprehensive stroke center in Japan (J-ASPECT) study	Circ Cardiovasc Qual Outcomes 7(3) 414-22 2014
95	Shunro Fujiwara	脳神経外科学講座	Quantification of iron in the non-human primate brain with diffusion-weighted magnetic resonance imaging	Neuroimage 102 Pt 2 789-97 2014
96	Sotaro Oshida	脳神経外科学講座	Does preoperative measurement of cerebral blood flow with acetazolamide challenge in addition to preoperative measurement of cerebral blood flow at the resting state increase the predictive accuracy of development of cerebral hyperperfusion after carotid endarterectomy? Results from 500 cases with brain perfusion single-photon emission computed tomography study	Neurol Med Chir (Tokyo) 55(2) 141-8 2015
97	Takaaki Beppu	脳神経外科学講座	The role of MR imaging in assessment of brain damage from carbon monoxide poisoning: a review of the literature	AJNR Am J Neuroradiol 35(4) 625-31 2014

小計 10件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
98	Takaaki Beppu	脳神経外科学講座	High-uptake areas on positron emission tomography with the hypoxic radiotracer (18)F-FRP170 in glioblastomas include regions retaining proliferative activity under hypoxia	Ann Nucl Med 29(4) 336-41 2015
99	Yorihiko Koeda	脳神経外科学講座	Usefulness of risk grading system using albuminuria for predicting cardiovascular events and all-cause death in chronic kidney disease: a population-based prospective cohort study in Japan	Int J Cardiol 175(3) 576-7 2014
100	Yoshitaka Kubo	脳神経外科学講座	Female sex as a risk factor for the growth of asymptomatic, unruptured cerebral saccular aneurysms in elderly patients	J Neurosurg 121(3) 599-604 2014
101	Yoshitaka Kubo	脳神経外科学講座	High-flow bypass and wrap-clipping for ruptured blood blister-like aneurysm of the internal carotid artery using intraoperative monitoring of cerebral hemodynamics	Vasc Health Risk Manag 11 297-302 2015
102	Yoshitaka Kubo	脳神経外科学講座	Appetite loss may be induced by lower serum ghrelin and higher serum leptin concentrations in subarachnoid hemorrhage patients	Nutritional Neuroscience 17(5) 230-233 2014
103	Yuiko Sato	脳神経外科学講座	Preoperative visualization of the marginal tentorial artery as an unusual collateral pathway in a patient with symptomatic bilateral vertebral artery occlusion undergoing arterial bypass surgery: A 7.0-T magnetic resonance imaging study	Surg Neurol Int 5 157 2014
104	Renpei Kato	泌尿器科学講座	Efficacy of everolimus in patients with advanced renal cell carcinoma refractory or intolerant to VEGFR-TKIs and safety compared with prior VEGFR-TKI treatment	Jpn J Clin Oncol 44(5) 479-85 2014
105	Kanako Tsunoda	皮膚科学講座	Treatment of facial telangiectasia with a small spot of intense pulsed light: a case series of three patients	J Dermatol 41(7) 638-41 2014
106	Kanako Tsunoda	皮膚科学講座	A Case of Cellular Fibrous Histiocytoma on the Right Elbow with Repeated Relapse within a Short Period	Case Rep Dermatol 7(1) 42283 2015
107	Seiya Fukuda	皮膚科学講座	Psychological stress has the potential to cause a decline in the epidermal permeability barrier function of the horny layer	Int J Cosmet Sci 37(1) 23255 2015
108	Tamotsu Sugai	病理診断学講座	Clinico-pathological findings and molecular alterations of colorectal serrated lesion	Nihon Shokakibyō Gakkai Zasshi 112(4) 661-8 2015

小計 11件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
109	Tomonori Kawasaki	病理診断学講座	Mammary carcinomas with neuroendocrine features—correct understanding and proper use of the terminology	Histopathology 66(5) 754-5 2015
110	Tomonori Kawasaki	病理診断学講座	Well-differentiated neuroendocrine tumor of the breast with recurrence due to needle tract seeding	Virchows Arch 466(4) 479-81 2015
111	Tomonori Kawasaki	病理診断学講座	A rare case of breast cancer showing distinct TTF-1 nuclear expression: small-cell carcinoma or not?	Histopathology 66(5) 752-3 2015
112	Yasuko Suga	病理診断学講座	Molecular analysis of isolated tumor glands from endometrial endometrioid adenocarcinomas	Pathol Int 65(5) 240-9 2015
113	Masataka Nakano	法医学講座	CYP2A7 pseudogene transcript affects CYP2A6 expression in human liver by acting as a decoy for miR-126	Drug Metab Dispos 43(5) 703-12 2015
114	Akio Tamura	放射線医学講座	Is ultrasound-guided central venous port placement effective to avoid pinch-off syndrome?	J Vasc Access 15(4) 311-6 2014
115	Akio Tamura	放射線医学講座	Embolization of a symptomatic intrahepatic portosystemic venous shunt	Intern Med 53(9) 1033-4 2014
116	George, Richard T	放射線医学講座	Myocardial CT perfusion imaging and SPECT for the diagnosis of coronary artery disease: a head-to-head comparison from the CORE320 multicenter diagnostic performance study	Radiology 272(2) 407-16 2014
117	Kunihiro Yoshioka	放射線医学講座	Subtraction coronary CT angiography using second-generation 320-detector row CT	Int J Cardiovasc Imaging 31(Suppl 1) 18841 2015
118	Satoshi Harada	放射線医学講座	Targeted concurrent chemoradiotherapy, by using improved microcapsules that release carboplatin in response to radiation, improves detectability by computed tomography as well as antitumor activity while reducing adverse effect in vivo	Biomed Pharmacother 70 196-205 2015
119	Shigeru Ehara	放射線医学講座	Hand osteolysis in patients with adult T-cell leukemia-lymphoma: radiographic characteristics	Tohoku J Exp Med 236(1) 23255 2015

小計 11件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
120	Tatsuhiko Nakasato	放射線医学講座	Minor ossicular anomalies in the middle ear: role of submillimeter multislice computed tomography	J Comput Assist Tomogr 38(5) 655-61 2014
121	Tetsuo Nakayama	放射線医学講座	Spondylolytic spondylolisthesis: various imaging features and natural courses	Jpn J Radiol 33(1) 42075 2015

計 121件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。
- 3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
- 4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第3)

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	小守林 靖一	岩手県高度救命救急センター	【大事なことだけギュギュッと凝縮!脳神経疾患&治療 まるわかり帳】疾患編 慢性硬膜下血腫	Brain Nursing 30(4) 338-339 2014
2	千田 勝一	小児科学講座	【管理法はどう変わったか?:温故知新 新生児編】肺サーファクタントの投与 at birth、複数回投与	周産期医学 44(4) 429-431 2014
3	赤坂 真奈美	小児科学講座	【真菌感染症-カビを極める】ピンポイント小児医療 深在性真菌感染症の診断と治療薬の選択 津波肺の管理における真菌の意義	小児内科 46(12) 1853-1857 2014
4	千田 勝一	小児科学講座	東日本大震災が岩手、宮城、福島の子の小児と小児医療に与えた被害の実態と、それに対する支援策の効果と問題点についての総括 岩手県における大災害後の小児医療総括	日本小児科学会雑誌 118(12) 1768-1770 2014
5	千田 勝一	小児科学講座	東日本大震災が岩手、宮城、福島の子の小児と小児医療に与えた被害の実態と、それに対する支援策の効果と問題点についての総括 東日本大震災における初期対策と課題	日本小児科学会雑誌 118(12) 1776-1783 2014
6	千田 勝一	小児科学講座	【神経症候群(第2版)-その他の神経疾患を含めて-】周産期障害 ビリルビンと脳傷害	日本臨床別冊神経症候群 V 35-39 2014
7	阿部 貴弥	中央診療部門血液浄化療法部	【透析治療技術の現状の到達点】アルブミン結合毒素の効率的な除去法	臨床透析 30(5) 531-537 2014
8	阿部 俊	中央診療部門中央放射線部	Helicalとnon-Helicalの再考	日本放射線技術学会東北部会雑誌 24 50-53 2015
9	内海 裕	内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野	【気管支喘息の併存症をめぐって】呼吸器感染症と喘息	呼吸器内科 27(3) 203-206 2015
10	森川 直人	内科学講座 呼吸器・アレルギー・膠原病内科分野	【抗がん剤の副作用と支持療法-より適切な抗がん剤の安全使用をめざして-】系統別抗がん剤の副作用 化学療法薬 代謝拮抗剤 葉酸拮抗薬	日本臨床 73(増刊2)抗がん剤の副作用と支持療法 146-1482015
11	渡邊 舟貴	放射線医学講座	Trevor病の画像所見 4例の報告	臨床放射線 59(4) 620-625 2014

小計 11件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
12	武部 純	補綴・インプラント学 講座	舌全摘症例に対して補助装置付き下顎顎 義歯と上顎床装置との併用により咀嚼・嚥 下機能の向上に有効であった1例	顎顔面補綴 37(2) 69-77 2014
13	西塚 哲	外科学講座	【臨床プロテオミクス】疾患研究に応用され るプロテオーム解析 逆相タンパクアレイ技 術のがん研究への応用	医学のあゆみ 251(10) 999-1003 2014
14	岩谷 岳	外科学講座	バイオマーカーをめぐるQ&A(Question9) Histone mRNAおよびmiR-760の発現変化 は胃癌の進行と関連する	Surgery Frontier 21(4) 410-413 2014
15	武田 大樹	外科学講座	【消化器外科手術ピットフォールとリカバ リーショット】肝 腹腔鏡下肝切除中のピッ トフォールと対策	外科 76(12) 1432-1435 2014
16	武田 大樹	外科学講座	【肝切除術-基本手技と工夫-】鏡視下肝 切除術	手術 68(13) 1657-1662 2014
17	佐々木 章	外科学講座	【現況・手技・合併症対策…肥満外科手術 の最前線】肥満外科手術における合併症 対策	手術 68(9) 1193-1198 2014
18	新田 浩幸	外科学講座	層構造を意識した手術手技と術野展開 肝 当科における腹腔鏡下系統的肝切除の手 術手技 肝門部操作と肝静脈周囲の肝実 質離断を中心に	手術 69(2) 169-173 2015
19	佐々木 章	外科学講座	【最新アップ・ヘモ・ヘルニア・下肢パリック スの手術-第3版-】(第3章)ヘルニア Reduced port surgeryと単孔式手術	手術 69(4) 543-549 2015
20	佐々木 章	外科学講座	【手術記録の書き方】胃・十二指腸の手術 高度肥満症に対する腹腔鏡下スリーブ状 胃切除術	消化器外科 37(5) 656-659 2014
21	眞壁 健二	外科学講座	【手術記録の書き方】肝臓の手術 肝細胞 癌/鏡視下手術 腹腔鏡下肝右葉切除術	消化器外科 37(5) 779-782 2014
22	小林 めぐみ	外科学講座	開腹手術を要した菓子昆布による小児食 餌性イレウスの2例	日本小児外科学会 雑誌 50(2) 267-272 2014
23	佐々木 章	外科学講座	【最新肥満症学-基礎・臨床研究の最前線 -】肥満症の予防・治療 肥満外科療法 肥満外科手術のクリニカルパス	日本臨床 72(増刊4)最新肥満 症学 525-5312014

小計 12件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
24	黒坂 大次郎	眼科学講座	【眼科診療のエッセンスQ&A】緑内障と白内障 白内障編(Q10) 小児白内障の手術時期、IOL、術後管理について教えてください	あたらしい眼科 31(臨増) 84-85 2014
25	伊藤 愉一胤	眼科学講座	原田病の再発時に生じた片眼性前部虚血性視神経症の1例	眼科 57(1) 77-82 2015
26	井上 義博	救急医学講座	【内科外来で診るマイナーエマージェンシー 一般実地医家の緊急対処実践ガイド】内科・小児科的マイナーエマージェンシー タバコ経口中毒	Medical Practice 31(臨増) 93-94 2014
27	久保 慶高	脳神経外科学講座	【脳卒中診療最前線】未破裂脳動脈瘤 成人の5%前後が保有クモ膜下出血の発症リスクに	メディカル朝日 44(2) 27-28 2015
28	井上 義博	救急医学講座	食道・胃静脈瘤破裂に対する緊急内視鏡治療	岩手医学雑誌 66(6) 237-244 2015
29	鈴木 泰	救急医学講座	【徹底ガイド 急性血液浄化法2014-15】(IV章)急性血液浄化法の適応疾患 多臓器不全	救急・集中治療 26(3-4) 399-402 2014
30	松本 尚也	救急医学講座	【急性期NPPV療法】胸部外傷や気管支喘息など救急疾患におけるNPPV療法	人工呼吸 31(2) 162-166 2014
31	藤田 友嗣	救急医学講座	中毒中級講座[第7回] 植物性自然毒による中毒	中毒研究 28(1) 41-45 2015
32	中居 賢司	口腔医学講座関連医学分野	循環器疾患診療の潮流と歯科医療での留意点	岩手医科大学歯学雑誌 39(3) 73-87 2015
33	浅野 明子	口腔医学講座歯科医学教育学分野	義歯の破折を繰り返す患者に対し補綴処置を行った1症例	日本補綴歯科学会誌 6(2) 204-207 2014
34	熊谷 章子	口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野	東日本大震災における身元判明に至らない死体に関する検討	神奈川歯学 50(記念特別号) 96-102 2015
35	小野寺 慧	口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野	下顎埋伏智歯が12年間で筋突起下方まで移動した1例	日本口腔診断学会雑誌 28(1) 26-30 2015

小計 12件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
36	大橋 祐生	口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野	下顎枝内に下顎第二小臼歯の埋伏を認め た1例	日本口腔診断学会 雑誌 28(1) 40-43 2015
37	四戸 豊	口腔顎顔面再建学講座 歯科麻酔学分野	全身麻酔導入時に発症したロクロニウムに よるアナフィラキシーショックの1例	岩手医科大学歯学 雑誌 39(1) 29-36 2014
38	間山 寿代	口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野	矯正患者におけるoligodontiaに関する研究	Orthodontic Waves-Japanese Edition 74(1) 10-19 2015
39	古川 真司	口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野	tdTomatoマウス唾液腺における赤色蛍光 の局在と唾液腺由来培養細胞の特性	岩手医科大学歯学 雑誌 39(1) 14-28 2014
40	三浦 廣行	口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野	口腔周囲筋機能評価のための小型口唇圧 筋電計測システムの開発	東北矯正歯科学会 雑誌 22(1) 15-21 2014
41	佐藤 和朗	口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野	長期咬合管理への取り組み 岩手医科大 学における変遷	東北矯正歯科学会 雑誌 22(1) 45-50 2014
42	久慈 昭慶	口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯 科学分野	簡易呼気陽圧発生装置が自発呼吸に及ぼ す影響 呼吸力学パラメータによる分析	岩手医科大学歯学 雑誌 39(3) 98-105 2015
43	丸谷 由里子	口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯 科学分野	【知っておきたい小児歯科UP DATE】 歯と 口腔の発育	小児科 56(2) 105-113 2015
44	田中 光郎	口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯 科学分野	歯と口腔の成長と発育 小児期における咬 合の発達と異常	小児保健研究 74(1) 97-100 2015
45	大塚 耕太郎	災害・地域精神医学 講座	日本の自殺対策 NOCOMIT-Jの成果と今 後の展望	日本医事新報 4729 41 2014
46	竹下 亮輔	産婦人科学講座	経鼻免疫によるサーファクチンのアジュバ ント効果の検討	岩手医学雑誌 66(1) 23-35 2014
47	菊池 昭彦	産婦人科学講座	ここまで来た、ワクワクする胎児超音波!	岩手医学雑誌 66(6) 217-222 2015

小計 12件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
48	高田 杏奈	産婦人科学講座	生殖医療と漢方 切迫早産に対する漢方薬治療と頸管粘液中IL-8に対する影響についての検討	産婦人科漢方研究のあゆみ 31 40-44 2014
49	庄子 忠宏	産婦人科学講座	【産婦人科処方ofのすべて-すぐに使える実践ガイド】 婦人科編 腫瘍 卵巣がんの術前化学療法	臨床婦人科産科 68(4) 188-190 2014
50	高田 杏奈	産婦人科学講座	【産婦人科処方ofのすべて-すぐに使える実践ガイド】 婦人科編 腫瘍 卵巣がんの術後アジュバント 漿液性腺癌/類内膜腺癌	臨床婦人科産科 68(4) 191-193 2014
51	高取 恵里子	産婦人科学講座	【産婦人科処方ofのすべて-すぐに使える実践ガイド】 婦人科編 腫瘍 卵巣がんの術後アジュバント 明細胞腺癌/粘液性腺癌	臨床婦人科産科 68(4) 194-196 2014
52	小島 淳美	産婦人科学講座	【ゲノム時代の婦人科がん診療を展望する-がんの個性に応じたpersonalizationへの道】 婦人科がんのシグナル解析と分子標的治療の未来	臨床婦人科産科 69(1) 15-21 2015
53	志賀 清人	耳鼻咽喉科学講座	下咽頭癌と食道癌の重複癌に対する治療戦略	耳鼻と臨床 60(Suppl.1) S9-S12,S22-S23 2014
54	志賀 清人	耳鼻咽喉科学講座	頭頸部癌の治療	岩手医学雑誌 66(5) 173-177 2014
55	嘉村 幸恵	循環器医療センター 検査室	【エキスパートへの道<1>ピットフォール!ピットフォール!ピットフォール!】 先天性心疾患 右室収縮期圧の上昇は必ずしも肺高血圧症を意味しない	心エコー 16(3) 274-281 2015
56	小泉 淳一	循環器医療センター 心臓血管外科	Fontan適応症例に対する内胸動脈パッチを用いた肺動脈形成術	日本小児循環器学会雑誌 30(3) 319-325 2014
57	小山 耕太郎	小児科学講座	【小児疾患診療のための病態生理1 改訂第5版】 循環器疾患 冠動静脈瘻	小児内科 46(増刊) 222-225 2014
58	八木 淳子	神経精神科学講座	重大事件を引き起こした発達障害を有する少年の処遇 発達障害を有する青少年の処遇 少年刑務所の立場から	児童青年精神医学とその近接領域 56(1) 69-71 2015
59	八木 淳子	神経精神科学講座	東日本大震災で被災した岩手、宮城、福島 の3県における小児保健・医療の現状と復興 震災・津波被害の小児のこころに与えた影響 岩手県でのこころのケアのとりくみを 中心に	小児保健研究 74(1) 67-70 2015

小計 12件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
60	吉岡 靖史	神経精神科学講座	成人期の自閉症スペクトラム障害と注意欠陥多動性障害の合併例に対して atomoxetine が有効であった1例	精神科 25(5) 546-550 2014
61	八木 淳子	神経精神科学講座	子どものトラウマ回復の治療戦略 東日本大震災後の子どものトラウマケアの実践	日本社会精神医学会雑誌 24(1) 72-79 2015
62	八木 淳子	神経精神科学講座	東日本大震災が岩手、宮城、福島の子どもの小児と小児医療に与えた被害の実態と、それに対する支援策の効果と問題点についての総括 岩手県における大災害後の子どものこころへの対応	日本小児科学会雑誌 118(12) 1806-1814 2014
63	八木 淳子	神経精神科学講座	【今これからの心理職(2)これだけは知っておきたい 学校・教育領域で働く心理職のスタンダード】危機支援	臨床心理学 15(2) 224-229 2015
64	三條 克巳	神経精神科学講座	【精神科救急の最新知識】症候・精神疾患に対する対応 当院救命救急センターにおける双極性感情障害への対応	臨床精神医学 43(5) 691-696 2014
65	佐藤 光太郎	整形外科科学講座	手指骨折に対する低出力超音波の治療経験	整形・災害外科 57(4) 455-459 2014
66	佐藤 光太郎	整形外科科学講座	滑膜ひだが原因と考えられた弾発肘の1例	日本肘関節学会雑誌 21(2) 309-311 2014
67	田島 吾郎	整形外科科学講座	【整形外科領域での3Dイメージング最前線】3D imagingに期待すること 整形外科分野における現況と展望	映像情報 Medical 47(1) 11-16 2015
68	阿部 貴弥	中央診療部門血液浄化療法部	【透析・腎移植のすべて】腎代替療法の選択(導入) 急性血液浄化の適応	腎と透析 76(増刊) 84-88 2014
69	阿部 貴弥	中央診療部門血液浄化療法部	【徹底ガイド 急性血液浄化法2014-15】(III章)急性血液浄化法の実際 血漿交換(PE、CPE)	救急・集中治療 26(3-4) 326-335 2014
70	阿部 貴弥	中央診療部門血液浄化療法部	【徹底ガイド 急性血液浄化法2014-15】(VIII章)急性血液浄化 最近の話題 急性肝不全への血液浄化法の進歩	救急・集中治療 26(3-4) 575-581 2014
71	阿部 貴弥	中央診療部門血液浄化療法部	【徹底ガイド 急性血液浄化法2014-15】(VIII章)急性血液浄化 最近の話題 ECAD(extracorporeal albumin dialysis)・アルブミン透析	救急・集中治療 26巻(3-4) 538-544 2014

小計 12件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
72	阿部 貴弥	中央診療部門血液浄化療法部	【AKI診療の進歩】肝疾患(肝腎症候群)	腎と透析 76(4) 577-580 2014
73	千葉 拓也	中央診療部門中央臨床検査部	どうしますか?検査血液の異常値に遭遇した時 PLT異常低値に遭遇したとき	日本検査血液学会雑誌 15(3) 412-421 2014
74	昆 美保	中央特殊診療部視能訓練室	介護支援専門員との連携の重要性を示唆した緑内障患者の一例	日本視能訓練士協会誌 43 101-106 2014
75	小林 仁	内科学講座 呼吸器・アレルギー・ 膠原病内科分野	東北地区における咳嗽の実態に関する調査報告	アレルギー・免疫 21(8) 1266-1275 2014
76	齊藤 美帆	内科学講座 呼吸器・アレルギー・ 膠原病内科分野	IL-13及びβ2アドレナリン受容体遺伝子多型が気管支喘息患者の肺機能へ及ぼす影響	岩手医学雑誌 66(5) 179-184 2014
77	山内 広平	内科学講座 呼吸器・アレルギー・ 膠原病内科分野	気管支喘息の病態研究の進歩と新しい治療薬	日本臨床内科医学会誌 29(4) 514-520 2014
78	下田 祐大	内科学講座 循環器内科分野	【ICU・CCUにおける循環管理】 識る ICU・CCUでの循環管理におけるチーム医療の構築 コメディカルスタッフ、他診療科との関わり合い	Heart View 18(13) 1228-1233 2014
79	中島 祥文	内科学講座 循環器内科分野	【虚血性心疾患up to date-内科医によるトータルマネジメント】 血行再建 PCI,冠動脈バイパス 待機的血行再建におけるPCI	Medicina 51(4) 704-706 2014
80	上田 寛修	内科学講座 循環器内科分野	心房細動例における心拍調節薬ならびに抗不整脈薬がワルファリンカリウム抗凝固管理に及ぼす影響	Progress in Medicine 35(Suppl) 1381-384 2015
81	石川 有	内科学講座 循環器内科分野	【血栓症治療ガイドラインup-to-date】 心臓心臓インターベンションにおける臨床能力のステートメント 米国心臓学会財団(ACCF)/米国心臓協会(AHA)/米国心臓血管造影検査インターベンション学会(SCAI)2007年改訂版	血栓と循環 22(1) 103-106 2014
82	高橋 祐司	内科学講座 循環器内科分野	【心不全のすべて】 各背景疾患の診断と治療戦略 虚血性心疾患 陳旧性心筋梗塞、虚血性心筋症に対する治療戦略 カテーテルインターベンションを中心に	診断と治療 103(Suppl) 210-215 2015
83	遠藤 昌樹	内科学講座 消化器内科消化管分野	十二指腸腫瘍の診断と治療	Gastroenterological Endoscopy 56(11) 3763-3774 2014

小計 12件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
84	梁井 俊一	内科学講座 消化器内科消化管分野	【小腸の炎症】小腸炎症性疾患の診断	Intestine 19(2) 123-128 2015
85	中村 昌太郎	内科学講座 消化器内科消化管分野	【大腸疾患アトラス】限局性病変・単発病変 隆起性病変 上皮の変化のないもの・少ないもの(色調変化を含む) MALTリンパ腫 (隆起型)	消化器内視鏡 26(12) 1998-1999 2014
86	梁井 俊一	内科学講座 消化器内科消化管分野	【大腸疾患アトラス】限局性病変・単発病変 隆起性病変 腸型Behcet病(回盲部病変)	消化器内視鏡 26(12) 2020-2021 2014
87	川崎 啓祐	内科学講座 消化器内科消化管分野	【大腸疾患アトラス】非限局性病変・多発病変 隆起性病変 家族性大腸腺腫症	消化器内視鏡 26(12) 2028-2029 2014
88	小穴 修平	内科学講座 消化器内科消化管分野	DB-ERCPによる高齢者術後腸管に対する 治療 EPLBDの効果も含めて	日本高齢消化器病 学会誌 16(2) 9-15 2014
89	松本 主之	内科学講座 消化器内科消化管分野	【希少消化器疾患に対する萌芽的研究の 最前線】非特異性多発性小腸潰瘍症の発 症要因を特定できるか?	分子消化器病 12(1) 19-23 2015
90	千葉 俊美	内科学講座 消化器内科消化管分野	【機能性消化管疾患-病態の解明と新たな 治療】機能性消化管疾患診療ガイドライン Rome基準との比較から 過敏性腸症候群	臨床消化器内科 30(2) 161-170 2015
91	富田 一光	内科学講座 消化器内科消化管分野	【ステロイド療法のコツ】ステロイド療法の実 際 クロウン病・潰瘍性大腸炎	臨床と研究 91(4) 472-476 2014
92	梶田 房紀	内科学講座 心血管・腎・内分泌内 科学分野	低心機能を合併した発作性心房細動に対 する抗不整脈薬の長期再発予防効果と心 血管予後 アミオダロンとベプリジルとの比 較検討	Progress in Medicine 34(Suppl) 1603-606 2014
93	小澤 真人	内科学講座 心血管・腎・内分泌内 科学分野	糖尿病を合併した発作性心房細動症例に 対する抗不整脈薬療法の治療成績 糖尿 病非合併例との比較	心臓 46(Suppl) 379-85 2014
94	玉田 真希子	内科学講座 心血管・腎・内分泌内 科学分野	【内科疾患 最新の治療 明日への指針】 (第4章)循環器 深部静脈血栓症・肺動脈血 栓塞栓症	内科 113(6) 1246-1247 2014
95	寺山 靖夫	内科学講座 神経内科・老年科分野	【頭痛診療のニュー・ストリーム 新国際分 類とわが国の新診療ガイドライン】国際頭 痛分類第3版β版(ICHD-3β) 非血管性 頭蓋内疾患による頭痛	Clinical Neuroscience 32(5) 511-513 2014

小計 12件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
96	工藤 雅子	内科学講座 神経内科・老年科分野	【頭痛診療のニュー・ストリーム 新国際分類とわが国の新診療ガイドライン】国際頭痛分類第3版β版(ICHD-3β) 有痛性脳神経ニューロパチーおよび他の顔面痛 三叉神経痛以外の有痛性脳神経ニューロパチーおよび他の顔面痛(13.2~13.12)	Clinical Neuroscience 32(5) 528-529 2014
97	工藤 雅子	内科学講座 神経内科・老年科分野	私の処方 月経に関連した片頭痛の薬物治療	ModernPhysician 34(12) 1483-1484 2014
98	柴田 俊秀	内科学講座 神経内科・老年科分野	【Alzheimer病画像診断の新たな進歩】18F-AV45(flortetapir)によるアミロイドイメージング	神経内科 81(5) 474-479 2014
99	名取 達徳	内科学講座 神経内科・老年科分野	【女性の脳卒中と心筋梗塞】女性の脳静脈閉塞症	成人病と生活習慣病 44(11) 1323-1328 2014
100	及川 博隆	内科学講座 神経内科・老年科分野	【Brush Up! CDE 糖尿病合併症事典】慢性合併症【大血管障害】脳梗塞	糖尿病診療マスター 12(3) 286-288 2014
101	齋藤 あゆみ	内科学講座 神経内科・老年科分野	【神経症候群(第2版)-その他の神経疾患を含めて-】頭痛 頭痛の分類	日本臨床 別冊神経症候群VI 597-601 2014
102	工藤 雅子	内科学講座 神経内科・老年科分野	【神経症候群(第2版)-その他の神経疾患を含めて-】頭痛 一次性頭痛 その他の一次性頭痛疾患 睡眠時頭痛	日本臨床 別冊神経症候群VI 764-767 2014
103	工藤 雅子	内科学講座 神経内科・老年科分野	【神経症候群(第2版)-その他の神経疾患を含めて-】頭痛 有痛性脳神経ニューロパチーおよび他の顔面痛 Paratrigeminal oculosympathetic(Raeder's) syndrome	日本臨床 別冊神経症候群VI 890-893 2014
104	石垣 泰	内科学講座 糖尿病・代謝内科分野	【肥満症診療最前線】肥満に起因する疾患の検査、治療のポイントは? 体重減少の効果を主に 糖尿病	ModernPhysician 35(2) 187-190 2015
105	石垣 泰	内科学講座 糖尿病・代謝内科分野	ここが変わった、糖尿病診療	岩手医学雑誌 66(6) 229-235 2015
106	石垣 泰	内科学講座 糖尿病・代謝内科分野	【ACC/AHAガイドラインを読み解く】糖尿病患者の脂質管理	動脈硬化予防 13(4) 30-35 2015
107	石垣 泰	内科学講座 糖尿病・代謝内科分野	大血管障害発症予防を目指した糖尿病診療	日本臨床内科医会 会誌 29(4) 521-524 2014

小計 12件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
108	伊藤 薫樹	内科学講座 血液腫瘍内科分野	【多発性骨髄腫の病態と最新治療-基礎と臨床の最新情報-】診断と治療研究 治療自家移植後の地固め・維持療法	日本臨床 73(1) 102-106 2015
109	藤島 行輝	内科学講座 血液腫瘍内科分野	【抗がん剤の副作用と支持療法-より適切な抗がん剤の安全使用をめざして-】系統別抗がん剤の副作用 化学療法薬 代謝拮抗剤 プリンアナログ	日本臨床 73(増刊2)抗がん剤 の副作用と支持療法 149-153 2015
110	吉田 研二	脳神経外科学講座	【術式別決定版 脳神経外科手術とケアパーフェクトガイド 術前→術中→術後ケアまでの流れとケアポイントをみっちり凝縮!】(第2章)術式別 手術の実際とケア 頸動脈内膜剥離術	Brain Nursing 2015春季増刊 112-119 2015
111	小笠原 邦昭	脳神経外科学講座	【脳卒中EBMカタログI】バイパス術 JET、COSS	Clinical Neuroscience 32(4) 424-425 2014
112	松浦 秀樹	脳神経外科学講座	【外傷】骨折とgrowing skull fracture	小児の脳神経 39(3) 225-229 2014
113	小笠原 邦昭	脳神経外科学講座	【脳卒中診療の進歩】虚血性脳卒中に対する外科的血行再建術の現状	日本医師会雑誌 143(9) 1917-1920 2014
114	小笠原 邦昭	脳神経外科学講座	【脳と循環の20年】脳卒中と脳神経外科	脳と循環 20(1) 33-37 2015
115	斎藤 秀夫	脳神経外科学講座	頸動脈内膜剥離術後の認知機能変化および貧困灌流の検出法に関する研究	脳循環代謝 25(2) 101-103 2014
116	南波 孝昌	脳神経外科学講座	頸椎前方固定術後に発症したbow hunter症候群の1例	脳神経外科ジャーナル 23(5) 429-434 2014
117	小笠原 邦昭	脳神経外科学講座	慢性硬膜下血腫の治療・手術 私の工夫 慢性硬膜下血腫と脳循環研究	脳神経外科速報 24(12) 1318-1323 2014
118	千田 光平	脳神経外科学講座	専門医に求められる最新の知識 脳血管障害 頸動脈内膜剥離術による認知機能変化 そのメカニズムの解明	脳神経外科速報 25(1) 68-73 2015
119	南波 孝昌	脳神経外科学講座	【進化する脳卒中の分子イメージング】イオマゼニル(123I)SPECTを用いた貧困灌流の検出	分子脳血管病 13(2) 131-134 2014

小計 12件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
120	加藤 廉平	泌尿器科学講座	【冷静な対処ができる看護師になろう!泌尿器科患者の急変・危険サイン】薬物療法(化学療法)中の急変・危険サイン(2)	泌尿器ケア 20(1) 34-40 2015
121	小原 航	泌尿器科学講座	転移性腎癌の治療戦略ー診療ガイドラインに基づいた転移性腎癌の治療戦略ー	泌尿器外科 27(臨増) 573-574 2014
122	小原 航	泌尿器科学講座	トランスレーショナルリサーチの現状と今後の展望 ヒトゲノム解析に基づいた膀胱がんペプチドワクチン療法	泌尿器外科 27(臨増) 645-646 2014
123	加藤 廉平	泌尿器科学講座	【新時代を迎えたPET診断】腎癌に対するPETの有用性と今後の展望	臨床泌尿器科 68(13) 1004-1009 2014
124	高田 亮	泌尿器科学講座	【前立腺癌の診療ナビゲーション-わかりやすく丁寧に!】前立腺癌をめぐる最近のトピックス 次世代シーケンサーを活用した前立腺癌の細胞制御システム機構 次世代シーケンサーを活用した前立腺癌の細胞制御システム機構について教えてください	臨床泌尿器科 68(4) 347-351 2014
125	大森 聡	泌尿器科学講座	【前立腺癌の診療ナビゲーション-わかりやすく丁寧に!】前立腺癌の診断 画像診断CT検査 CT検査の実際と注意点について教えてください。この検査は、何を確認するために行うのでしょうか	臨床泌尿器科 68(4) 70-71 2014
126	大森 聡	泌尿器科学講座	【前立腺癌の診療ナビゲーション-わかりやすく丁寧に!】前立腺癌の診断 画像診断MRI検査 MRI検査の実際と注意点について教えてください。この検査は、なにを確認するために行うのでしょうか	臨床泌尿器科 68(4) 72-75 2014
127	大森 聡	泌尿器科学講座	【臨床・画像・病理トライアングル】典型的でない副腎疾患	映像情報 Medical 46(5) 422-427 2014
128	加藤 陽一郎	泌尿器科学講座	浸潤性膀胱癌に対する化学療法感受性予測システムと病理学的ダウンスタージングとの関連性	日本腎泌尿器疾患 予防医学研究会誌 22(1) 56-58 2014
129	加藤 陽一郎	泌尿器科学講座	【抗がん剤の副作用と支持療法-より適切な抗がん剤の安全使用をめざして-】臓器別がん腫レジメンの副作用と対策 進行性尿路上皮癌 進行性尿路上皮癌に対するGEM+CDDP療法の副作用と支持療法	日本臨床 73(増刊2)抗がん剤 の副作用と支持療法 609-613 2015
130	小原 航	泌尿器科学講座	【筋層非浸潤性膀胱癌の新治療戦略】薬物療法の新展開 筋層非浸潤性膀胱癌に対するペプチドワクチン療法による再発予防効果	泌尿器外科 28(2) 155-158 2015

小計 11件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
131	高橋 和宏	皮膚科学講座	【ドレッシング材の種類と使い方-プロフェッショナルはこう選ぶ】(Part3.)他治療との比較(case 22) ドレッシング材vs局所陰圧閉鎖療法(NPWT)	Visual Dermatology 13(5) 565-569 2014
132	遠藤 幸紀	皮膚科学講座	乾癬治療生物学的製剤の光と陰 妊婦、小児症例に対する生物学的製剤のエビデンス	日本皮膚科学会雑誌 124(13) 2761-2763 2014
133	馬場 俊右	皮膚科学講座	【血管炎・血行障害・紫斑病】ステロイドパルス療法・血漿交換療法に抵抗性の多発単神経炎を合併した皮膚型結節性動脈周囲炎の1例	皮膚科の臨床 56(5) 678-681 2014
134	渡部 大輔	皮膚科学講座	【角化症・炎症性角化症】壊死性筋膜炎を合併した関節症性乾癬の1例	皮膚科の臨床 56(8) 1119-1121 2014
135	馬場 俊右	皮膚科学講座	ダウン症に合併した蛇行性穿孔性弾性線維症の1例	皮膚科の臨床 57(1) 101-105,5-6 2015
136	大久保 絢香	皮膚科学講座	慢性C型肝炎に合併したPR3-ANCA陽性の好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の1例	皮膚科の臨床 57(1) 107-110 2015
137	宮本 章弘	皮膚科学講座	Mohs' Chemosurgeryを施行した下顎歯肉癌の皮膚浸潤の1例	皮膚科の臨床 57(1) 130-131 2015
138	赤坂 俊英	皮膚科学講座	日光角化症の診断・治療 日光角化症の病理組織診断のポイント	皮膚病診療 36(12別冊) 1-9 2014
139	吉田 亜希	皮膚科学講座	ロングパルスダイレーザーが奏効した多発性尋常性疣贅の1例	臨床皮膚科 68(4) 360-364 2014
140	櫻井 英一	皮膚科学講座	イミキモド外用で治癒したBowen様丘疹症の1例	臨床皮膚科 69(2) 145-148 2015
141	上杉 憲幸	病理診断学講座	【大腸LSTの診断と意義-拡大内視鏡を中心に】大腸LSTの肉眼型分類に基づいた臨床病理学および分子病理学的検討	胃と腸 49(12) 1732-1747 2014
142	菅井 有	病理診断学講座	【大腸T1(SM)癌に対する内視鏡治療の適応拡大】大腸T1(SM)癌診療の今後の展望と課題	胃と腸 49(7) 1071-1087 2014

小計 12件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
143	石田 和之	病理診断学講座	【肝癌のトピックス】大腸癌肝転移巣に対する術前治療の病理組織学的評価	病理と臨床 32(12) 1363-1369 2014
144	菅井 有	病理診断学講座	【免疫組織化学 診断と治療選択の指針】(第2部)腫瘍の鑑別に用いられる抗体(各臓器別) 大腸	病理と臨床 32(臨増) 118-124 2014
145	菅井 有	病理診断学講座	Dysplasia vs carcinoma 胃粘膜内上皮性腫瘍のgradingは有用か?	病理と臨床 33(2) 203-205 2015
146	石田 和之	病理診断学講座	CPC解説(第68回) 非結核性抗酸菌による乾酪性肺炎の一例	病理と臨床 33(3) 303-309 2015
147	櫻庭 浩之	補綴・インプラント学講座	下顎の偏位が脳機能応答に及ぼす影響 functional MRIを用いた検討	岩手医科大学歯学雑誌 39(1) 1-13 2014
148	小林 琢也	補綴・インプラント学講座	口腔機能の障害は脳機能活動にどのように現れるか	岩手医科大学歯学雑誌 39(3) 88-97 2015
149	近藤 尚知	補綴・インプラント学講座	【一歩進んだスキルを身につける 可撤性補綴装置支台としてのインプラント活用術】インプラントオーバーデンチャーを適切に機能させる埋入手術の勘所 CTデータとPCシミュレーション、サージカルガイドを応用したインプラント埋入手術	歯界展望 125(2) 260-267 2015
150	鈴木 美知子	放射線医学講座	【整形外科領域での3Dイメージング最前線】骨軟骨外傷における3次元CTの有用性	映像情報 Medical 47(1) 23-27 2015
151	川島 和哉	放射線医学講座	症例から学ぶ 画像診断トレーニング(第24回)	脊椎脊髄ジャーナル 28(2) 143-146 2015
152	川島 和哉	放射線医学講座	症例から学ぶ 画像診断トレーニング(第25回) 症例:18歳,女性	脊椎脊髄ジャーナル 28(3) 211-214 2015
153	鈴木 智大	放射線医学講座	【骨・軟部外傷の画像診断 その新たな展開】骨外傷におけるトモシンセシスを用いた断層画像の今日的意義	臨床画像 31(3) 310-317 2015
154	中山 学	放射線医学講座	骨軟部腫瘍における画像評価最前線 骨軟部腫瘍の画像診断におけるX線撮影とCTの意義	臨床整形外科 50(3) 215-221 2015

小計 12件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
155	相澤 純	麻酔学講座	【ドクターはここを見る!判断のポイントがわかる!胸部X線写真の見かた】(mission 5)胸部X線写真でARDSを疑う所見は?胸水・肺炎との違いは?	呼吸器ケア 12(12) 1182-1186 2014
156	三浦 皓子	麻酔学講座	末梢性顔面神経麻痺の造影MRI所見と予後予測に関する検討	日本ペインクリニック学会誌 22(1) 33-39 2015
157	相澤 純	麻酔学講座	適切な脳組織酸素飽和度を維持するために必要な各種バイタルサインに関する研究	日本集中治療医学会雑誌 22(1) 17-22 2015
158	小林 隆史	麻酔学講座	心拍動下冠動脈バイパス術(OPCAB)の麻酔	日本臨床麻酔学会誌 34(3) 338-344 2014
159	伊野田 絢子	麻酔学講座	術前補水管理法の違いが患者の満足度、ストレス反応および血行動態に与える影響	麻酔 64(3) 285-293 2015
160	伊野田 絢子	麻酔学講座	bispectral index電極による皮膚障害の発生	麻酔 64(3) 318-320 2015
161	山城 晃	麻酔学講座	胸部大血管予定手術におけるシベレスタット投与の有用性に関する検討	臨床麻酔 38(5) 793-796 2014
162	福島 明宗	臨床遺伝学科	日本における遺伝医療の現状と出生前検査・診断	岩手医学雑誌 66(6) 223-228 2015
163	福島 明宗	臨床遺伝学科	周産期における災害対策 岩手県において「そのとき」起こったこと、行われたこと	母性衛生 55(1) 66-73 2014
164	諏訪部 章	臨床検査医学講座	培養装置付き蛍光・位相差顕微鏡によるラット分離肺胞II型細胞の観察 接着・サーファクタント分泌・ドーム形成までの経時変化	分子呼吸器病 19(1) 115-117 2015
165	諏訪部 章	臨床検査医学講座	危機的出血(大量出血・大量輸血)におけるチーム医療 危機的出血に対するチーム医療を確立するために	臨床病理 62(12) 1296-1298 2014
166	滝川 康裕	内科学講座 消化器内科肝臓分野	肝臓 劇症肝炎とde novo肝炎	Annual Review消化器 2015 74-83 2015

小計 12件

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
167	遠藤 龍人	内科学講座 消化器内科肝臓分野	【最新情報をおさえる! 臨床栄養の活用ガイド】さまざまな病態における栄養のポイント 肝不全と栄養管理	Medicina 51(13) 2346-2349 2014
168	遠藤 龍人	内科学講座 消化器内科肝臓分野	【肝胆膵診療のNew Horizon】肝臓疾患 肝硬変 BCAAによる栄養療法	肝・胆・膵 69(6) 947-953 2014
169	小野寺 美緒	内科学講座 消化器内科肝臓分野	肝疾患患者におけるProthrombin Time(PT) 測定と表記法の妥当性に関する検証	東北止血・血栓研 究会会誌 XXVII 6-10 2014

計 169件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
 2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。
 3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 倫理指針に基づき、①研究者等の責務等、②研究責任者の責務、③研究機関の長の責務、④研究計画書の記載事項、⑤インフォームド・コンセントを受ける手続き等、⑥個人情報等の保護、⑦重篤な有害事象への対応、⑧申請手順等	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 学校法人岩手医科大学の職員等が行う産学連携活動に伴い発生する利益相反を適切に管理することによって、大学及び職員等の社会的信用及び名誉の保持及び社会貢献の推進を図ることを目的とする。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年4回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年3回
・ 研修の主な内容 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針の概要」、「研究活動の不正行為防止について」、「本年4月より施行された『人を対象とする医学系研究に関する倫理指針』で新たに求められることとされた『モニタリング及び監査』について	

(様式第 4)

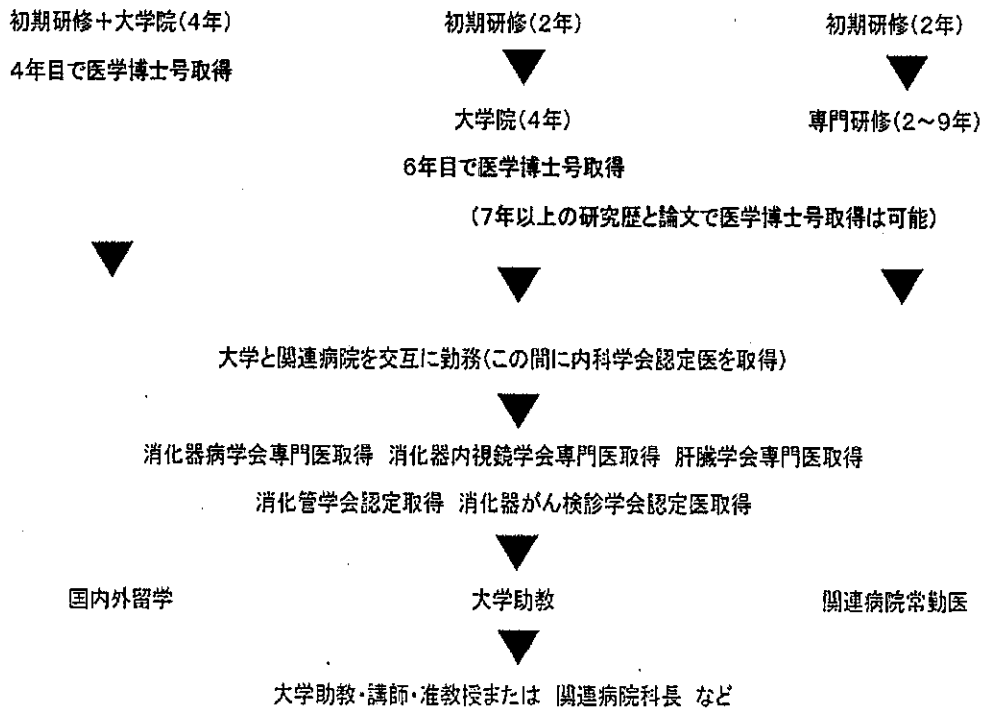
高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各専門領域において、認定医および専門医等資格取得に至る修練期間が異なるが、各科において①初期臨床研修終了後に認定医・専門医資格取得に向けた専門研修を行う、②初期臨床研修終了後に大学院に進み博士号取得を目指し、その後認定医・専門医資格取得に向けた専門研修を行う、③初期臨床研修を行いながら同時に社会人大学院に進み博士号取得を目指し、その後認定医・専門医資格取得に向けた専門研修を行うとする、概ね3通りのコースを設けており、各々のライフプランに合わせた研修を行う。各科の研修は、自院のほかに院外認定施設（病院）においても行われ、専門医等取得に向け領域の所定症例（数）の臨床経験、論文の執筆・発表および学会参加等、日々種々の研修を積む。

一つの事例として、消化管内科・肝臓内科での研修のライフプランを図で示すと以下のとおりとなります。

ライフプラン



2 研修の実績

研修医の人数	29人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
廣田 茂	消化器内科・消化管内科	講師	28年	
滝川 康弘	消化器内科・肝臓内科	教授	33年	
石垣 泰	糖尿病・代謝内科	教授	22年	
田中 文隆	心血管・腎・内分泌内科	講師	19年	
房崎 哲也	循環器内科	特任准教授	20年	
中村 豊	呼吸器・アレルギー・膠原病内科	准教授	24年	
古和田 正吾	血液・腫瘍内科	講師	18年	
金 正門	神経内科・老年科	特任講師	19年	
肥田 圭介	外科	特任准教授	26年	
小笠原 邦昭	脳神経外科	教授	31年	
岡林 均	心臓血管外科	教授	39年	
谷田 達男	呼吸器外科	教授	36年	
土井田 稔	整形外科	教授	31年	
柏 克彦	形成外科	特任教授	31年	
本田 達也	産婦人科	助教	22年	
赤坂 真奈美	小児科	特任講師	22年	
佐藤 宏昭	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	教授	33年	
黒坂 大次郎	眼科	教授	28年	
赤坂 俊英	皮膚科	教授	39年	
高田 亮	泌尿器科	講師	15年	
江原 茂	放射線科	教授	36年	
星 克仁	精神神経科	講師	17年	
鈴木 健二	麻酔科	教授	30年	
井上 義博	救急センター	教授	33年	
諏訪部 章	臨床検査科	教授	31年	
櫻井 滋	睡眠医療科	教授	34年	
菅井 有	病理診断科	教授	31年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
管理責任者氏名	病院長 酒井 明夫
管理担当者氏名	病院事務部長 齊藤 俊哉 及び 各所属課長

	保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	病院事務部 診療記録管理室 各診療科 薬剤部 看護部	入院診療録は、1入院1診療録のターミナル・デジタル方式により管理している。外来診療録は、1患者診療科別診療録とし、各診療科により管理している。病院日誌等の各種日誌に関しては、各部署で年毎に管理している。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	人事職員課	
	高度の医療の提供の実績	医務課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医務課	
	高度の医療の研修の実績	医務課	
	閲覧実績	医務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医務課	
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医務課、薬剤部	各部署で紙または電子媒体で管理している。	
第規 一則 号第 に一 掲条 げの る十 体一 制第 の一 確項 保各 の号 状及 況 第 九 条 の 二 十 第 一 項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況		医療安全管理部
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		医療安全管理部
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		医療安全管理部
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		医療安全管理部
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況		医療安全管理部
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況		医療安全管理部
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況		医療安全管理部
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		医療安全管理部、医療福祉相談室
年度毎に紙または電子媒体で管理している。			

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則 第一条の十一 第一項各号及び第九條の二十三 第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	医療安全管理部	年度毎に紙または電子媒体で管理している。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療安全管理部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部	
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医療安全管理部、薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部、薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全管理部、薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部、薬剤部	
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療安全管理部、臨床工学部	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部、臨床工学部	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部			
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部			

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
閲覧責任者氏名	病院事務部長	齋藤 俊哉
閲覧担当者氏名	病院事務部次長	千葉 久人
	医務課長	佐藤 嘉英
	医事課長	小野 圭子
	人事職員課長	寺館 武志
閲覧の求めに応じる場所	諸記録閲覧室、会議室、カンファレンスルーム	
閲覧の手続の概要		
閲覧希望があった場合、医務課が窓口となり閲覧の求めに応じる、		

(注) 既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第6)

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： (1) 安全管理に関する基本的考え方 (2) 安全管理委員会、その他組織に関する基本的事項 (3) 医療に係る安全管理のための職員に対する研修に関する基本方針 (4) 事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 (5) 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 (6) 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針（患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針を含む） (7) 患者からの相談への対応に関する方針 (8) その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
・ 活動の主な内容： (1) 重大な検討内容について、患者への対応状況を含め管理者への報告 (2) 重大な問題が発生した場合は、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに従業者への周知を図る (3) 安全管理委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し見直しを行う (4) 月1回程度開催するとともに、重大な問題が発生した場合は適宜開催する	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年38回
・ 研修の主な内容： 医療に係る安全管理のための基本的考え方及び具体的方策	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無） ・ その他の改善のための方策の主な内容： (1) 病院において発生した事故の安全管理委員会への報告 (2) あらかじめ定められた手順、事故収集の範囲等に関する規定に従い事例を収集、分析し、病院における問題点を把握して病院の組織としての改善策の企画立案及び実施状況を評価し病院において情報を共有する。 (3) 重大な事故の発生時には、速やかに管理者へ報告する。なお、事故の報告は診療録、看護記録等に基づき作成する。	

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	④ (3名) ・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	④ (4名) ・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	④ ・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任 (3) 名 兼任 (9) 名 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存。その他安全管理委員会の庶務に関する活動 (2) 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされているかの確認及び指導を行う (3) 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況についての確認及び指導を行う (4) 事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認及び指導を行う (5) 医療安全に係る連絡調整、及びその他医療安全対策の推進に関する活動 	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	④ ・無

(様式第 6)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
・ 指針の主な内容： (1) 院内感染対策に関する基本的考え方 (2) 院内感染対策のための委員会、その他の組織に関する基本的事項 (3) 院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針 (4) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 (5) 院内感染発生時の対応に関する基本方針 (6) 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本指針 (7) その他の当該病院等における院内感染対策の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
・ 活動の主な内容： (1) 重要な検討内容について、院内感染発生時及び発生が疑われる際の患者への対応状況を含め、管理者への報告 (2) 院内感染が発生した場合は、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに従業者への周知を図る (3) 院内感染対策委員会で立案された改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行う (4) 月1回程度開催するとともに、重大な問題が発生した場合は適宜開催する	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年14回
・ 研修の主な内容： 院内感染対策のための基本的考え方及び具体的方策	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： (1) 院内感染の発生状況を把握するため、病院における感染症の発生動向の情報を共有し、院内感染の発生の予防及びまん延の防止を図る (2) 重大な院内感染が発生し、院内のみでの対応が困難な事態が発生した場合、または発生したことが疑われる場合は地域の専門家等に相談が行われる体制の確保 (3) 「院内感染対策の指針」に即した院内感染対策マニュアルの整備、及び見直し	

(様式第 6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 2回
・ 研修の主な内容： (1) 医薬品の有効性・安全性に関する情報、使用方法に関する事項 (2) 医薬品の安全使用のための業務手順書に関する事項 (3) 医薬品による副作用等が発生した場合の対応に関する事項	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有・無) ・ 業務の主な内容： 「医薬品の安全使用のための業務手順書」に基づいた「業務チェック表」を各部署に配布し、チェックしたものを回収し確認している。その回収した「業務チェック表」を基に、医療安全推進室の薬剤師および医薬品・栄養部会で各部署を巡視し、指導等を行っている。 最終的に医薬品安全管理責任者が確認を行っている。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) 【収集方法】 厚生労働省、PMDA、日本医療機能評価機構、日本病院薬剤師会等のホームページおよび製薬企業、業界新聞等から情報を収集している。 【周知方法】 定期的に医療安全推進室からの「医薬品・医療機器等安全性情報」、薬剤部からの「DIニュース」および「医薬品に関する院内インシデント報告」を通じて情報を周知している。また必要に応じ、医療安全推進室からの医療安全通知および薬剤部からの業務連絡等により緊急の周知に対応している。迅速な対応を必要とする情報があった場合は、投与されている患者を特定して、主治医に直接情報提供している。また、電子カルテの「医薬品関連情報」ページより医薬品の適正使用・安全性情報、業務連絡、DIニュースなどを確認できるようにしている。	

・ その他の改善のための方策の主な内容：

- (1) 定期的な検査が必要な薬剤一覧を作成し周知
- (2) 入院化学療法での混合剤補液ラベルの表示変更
(誤認防止のため「混合剤」ラベルの表示を強調)
- (3) 院内で報告された主な副作用情報を薬事委員会、医療安全推進委員会、各種会議にて周知
- (4) 処置薬品など医薬品開封後の推奨使用期限を定め周知
- (5) 術前外来における薬剤師による面談と持参薬確認 (外科外来)
- (6) 入院化学療法の与薬に対する患者とのダブルチェック (トライアル)

(様式第6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年13回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>新しい医療機器の導入時及び特定機能病院における定期研修は以下の研修を行う</p> <p>(1) 医療機器の有効性・安全性に関する事項</p> <p>(2) 医療機器の使用方法に関する事項</p> <p>(3) 医療機器の保守点検に関する事項</p> <p>(4) 医療機器の不具合等が発生した場合の対応（施設内での報告、行政機関への報告等）に関する事項</p> <p>(5) 医療機器の使用に関して特に法令上遵守すべき事項</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>(1) 臨床工学技士による保守点検</p> <p>年1または2回の院内における動作点検・消耗品の交換</p> <p>(2) メーカーまたは委託専門業者による保守点検</p> <p>年1または2回の動作点検・消耗部品の交換</p> <p>(3) 保守契約付リース機器の専門業者による保守点検</p> <p>年1回の動作点検・消耗部品の交換</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>(1) 医療機器の不具合情報や安全性情報等の安全使用のために必要な情報を製造販売業者から一元的に収集し、得られた情報を医療機器に携わる職員に対して適切に提供する。</p> <p>(2) 医療機器の添付文書、一部取扱説明書等の医療機器の安全使用・保守点検に関する情報の整理及び管理。</p> <p>(3) 管理している医療機器の不具合や健康被害等に関する内外の情報収集に努め、病院管理者への報告を行う。</p>	

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要	